刊朝　大正十五年九月二十六日【日曜日】　THE KEIJO NIPPO　【明治三十九年八月十日第三種郵便物認可】　第六千七百六十號

京城日報
市内版
（毎夕刊合せて十二頁）
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

校註 日本文學大系 第二版 豫約募集

▲我が民族が産出した文藝上の[illegible]を網羅し、現代學界最高の權威者が、其内容の[illegible]製作の年代を辿つて、之を一貫せる體系の下に編[illegible]した國民の一大寶典で、實に世界的文獻として燦然たる光輝を放つ。

◆全二十五巻大本貳圓[illegible]の[illegible]▼

監修
文學博士 芳賀矢一
文學博士 尾上八郎
文學博士 和田萬吉
文學博士 上田萬年
內田貢
文學博士 藤井乙男
文學博士 藤村作
文學博士 笹川種郎
文學博士 三上參次
文學博士 新村出
文學博士 關根正直

解題執筆 文學博士 尾上八郎
挿繪選定解說 文學博士 笹川種郎

編輯及校註
東京女子高等師範學校教授 文學士 石川佐久太郎
東洋大學教授 長連恒
文學士 沼波守(?)
日本大學教授 金子彥二郎
東京女子高等師範學校教授 文學士 玉井幸助
高等師範學校教授 植松安
東京帝國大學文學部囑託 野村宗朔
法政大學教授 文學士 山岸德平
學習院教授 文學士 山崎麓
國學院大學教授 文學士 增子懷永
中央大學講師 文學士 佐伯常麿
東京女子高等師範學校教授 第一高等學校教授 文學士 佐久節

校註日本文學大系內容
(1)古事記。祝詞。壽詞。宣命。日本風土記。日本書紀神代卷。
(2)竹取物語。伊勢物語。大和物語。濱松中納言物語。無名草子。とりかへばや物語。堤中納言物語。
(3)土佐日記。蜻蛉日記。紫式部日記。和泉式部日記。更級日記。東關紀行。十六夜日記。枕草子。方丈記。徒然草。
(4)(5)宇津保物語。落窪物語。住吉物語。狹衣物語。岩清水物語。
(6)(7)源氏物語。附源氏物語忍草。
(8)(9)(10)今昔物語。宇治拾遺物語。古今著聞集。
(11)(12)(13)榮華物語。水鏡。大鏡。今鏡。增鏡。月のゆくへ。池の藻屑。
(14)(15)(16)保元物語。平治物語。平家物語。(17)(18)源平盛衰記。義經記。(19)太平記。吉野拾遺。神皇正統記。お伽草子。松帆浦物語。鳥部山物語。秋の夜の長物語。鴉鷺合戰物語。
(20)(21)謠曲。(22)狂言。(23)(24)本朝文粹。文華秀麗集。懷風藻。經國集。(25)索引。總目錄。國文學研究。

▲解題、校訂、註解等各先生が其の專攻する書を擔當して、蘊蓄を傾け、心血を濺いだ所に本大系の眞價があり、權威がある。

規略
◆申込金四圓◆每月拂込金參圓八拾錢◆一時拂込金九拾參圓六拾錢◆所に拘らず[illegible]◆送本大正十五年十二月より每月一冊廿五ヶ月完了

體裁
四六判天金總布製 口繪原色版又はコロタイプ挿入 各巻本文全部九ポイント組 每巻約八百頁

內容見本（八色刷口繪入）申越次第進呈
豫約申込 十月廿八日限

東京市麴町區內幸町一丁目 國民圖書株式會社

一九二七年式 インデアン自動自轉車

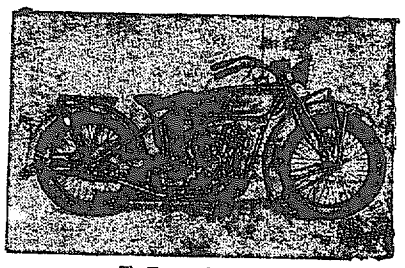
Indian Motocycles

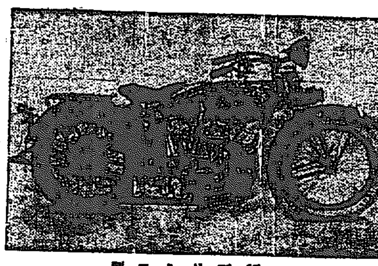
二十八の改良を加へ 從來に勝る嶄新優秀車

重量車 大チーフ型 着荷（プリンセスサイドカー付）
中量車 スカウト型 着荷
自轉車 プリンステラックス型 月末着
同 プリンス普通型 着荷

各型共にインデアン獨特の電氣裝置を有し、操縱容易に、乘心地宜く、消費量、維持費極めて少なく價格最も勉强なり。

スカウト型


新大チーフ型


新プリンス型

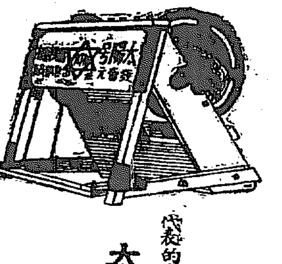
特約代理店日本自動車京城出張所へ輸入元二葉屋株式會社員出張致し居候に付御商談を乞ふ

各地樞要の地に特約代理店ありて、車の御用命に對しては責任、親切を以て、修理に何等御不便なきやうに致します。
詳細、美麗なる說明書進呈致します、郵券御送附を乞ふ

日本總代理店 輸入發賣元 二葉屋株式會社 東京市四谷區東信濃町十
特約代理店 京城黃金町四丁目 日本自動車株式會社京城出張所 電話本局長[illegible]番

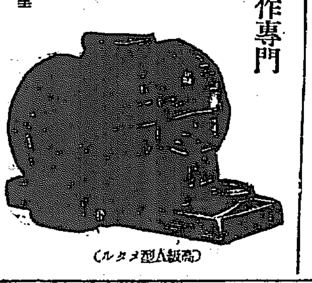
朝鮮一ノ安賣店

直輸入
釜山驛前
釜山火藥銃砲株式會社
電話長四八三番
振替京城一〇七〇三番
御注文ノ節ハ御覽ノ新聞名御記入願上候



太陽號
發賣元 釜山[illegible] 忽那嶋[illegible]

傳動裝置製作專門
シャフト及 自動注油メタル 皮車類 減摩東海 バビツトメタル
定價表發呈
TRADE MARK ☆
大阪市西區[illegible]町一七 村山秀雄商店 電話新町[illegible]番



品質本位確實 低廉價格迅速
壜の御注文は迷はずに
畑硝子製造所へ
京城古市町 電話本局[illegible]番 振替京城[illegible]番

中野府長 自殺を圖る

正社員

大劍士・名探偵・侠美人

講談倶樂部 秋季增刊

—腕ッ節・膽ッ玉・熱火の意氣地—

◎六百五十餘頁の大冊
素敵に面白い讀切り大讀物
講談倶樂部の增刊は何時も直ぐ賣り切れる！ 是非早くお求め下さい！

◎侠客征伐 鬼と唐犬 本田美禪
◎探偵小說 十二時前後 佐川春風
◎勇侠美人 山霧小百合 江見水蔭
◎維新劍客 伊庭八郎 田中[illegible]郎
◎柳營異聞 江戸城艷魔譚 橋爪彥七
◎探偵異聞 聲の殺人 木蘇穀
◎安政捕物 破獄大盜傳 大橋青波
◎江戸奇聞 蛇 小林宗吉
◎江戸巷談 椿說大根斬 平山蘆江
◎痛快仇討 吉岡兄弟 半井桃水
◎新浪花節 政宗と禪師 磯村野風
◎一法無外 白双不亂 小泉長三

「父の仇、丈右衞門があらう」と斷つてかゝつた投節の美人姉妹。何の、返り討だわ！と睨みつけた大兵の武士。何といつても武士と女だ。すでに危く見えた時、飛び込んで來た凄い樣な美人。敵か味方か。素晴しく面白い！

◎名人劍客 禁裏狼藉者 本山荻舟
……室町以來天下に知られた名人吉岡憲法二代目の鬼人が、暇しめられた武士の意氣地から、數千の捕手を相手に血の雨降らす大頑張！……大衆文壇の大家荻舟先生快心の長篇大力作

戀と罪と 社會事實
▲名妓小奴親子再會ロマンス
▲令嬢のお見立（政界の大立物、阪谷芳郎男爵の結婚ロマンス、世にも美しき戀！）……
▲罪の天理教徒（女ゆゑ戀ゆゑの公文書僞造！罪の天理教徒に絡る哀れ深き戀の悲話）……
▲戸籍の汚れを洗ふ爲の殺人

◎豐臣異聞 秀吉を戀ふ女 生田葵
◎探偵奇譚 秀鷹の罪 百宮茂輔
◎維新秘聞 決死の談判 松井健之
◎芝居物語 花の渡し 額田六福
◎滑稽落語 義 龍小勝
◎愛慾一念 不動殺生變 瀨山長三
◎探偵怪奇 相屋敷怪事件 松本泰
◎艶話悲話 血染の蒁菰 清見陸郎
◎風流武勇 風流娘浪人 中內蝶二
◎長篇大作 横手の五郎 有田利雄

◎旗本町奴 團子刺 伊藤銀月
◎西南秘史 月下の血吹雪 佐野天聲
◎京劇脚本 お愛 小橋梅夜
◎怪奇悲話 旅へ行く幽靈 長谷川伸
◎高速度劇 T・Y丸事件 久住太郎
◎世話講談 闇の丑松 神田伯龍
◎維新講談 筑紫市兵衞 大島伯鶴
◎痛快滑稽 彥左の一喝 藍川染雄
◎滑稽落語 雛 伊蝶花園
◎幕末秘錄 大姦結城寅壽 井上剣花坊

結婚をめぐる葛藤と悲喜劇
▲結婚魔の惡戯
▲三つ巴の愛慾の渦
▲美しき女の陥穽
▲十五の春に人妻

◎「講談倶樂部秋季增刊」と御指命の上お求を乞ふ
定價金壹圓二十錢 郵税五錢
東京本鄉駒込坂下 講談社

拓殖省の新設問題

京城日報

一

行政調査會の幹事會は、拓殖省の新設につき研究中のところ、大體新設することに意見が纏まつたので、不日總會に附議し、確定議として若槻首相に答申するはずである。その組織要項を見るに、拓殖省は（一）朝鮮、臺灣、關東州、樺太、南洋群島、および南滿洲鐵道附屬地、の統轄事務を管轄することとし、（樺太は內務省に移管）（二）朝鮮は行政上特殊の取扱ひをなし（三）拓殖省は對植民地の行政、產業、移民その他これに關聯する諸般の事務を司り（四）拓殖省は各省と同一の組織による各植民地長官の職權は現在より縮小されない筈である」

二

拓殖省の新設について、從來世間に異論のあつたのは（一）かつて拓殖務省なるものが設けられて一旦ら廢止され、その後も拓殖事務所管の組織が、伸びたり縮んだり一向何のことやら分らぬ。然るに今また拓殖省を新設する如き行政整理の趣旨に反し、いつまた廢止されるやも知れず徒らに植民地行政を弄ぶ嫌ひあるとであり（二）植民地の特殊事情を無視し、行政を內地的に統一する傾向を生ずべきを面白からずとするものであり、（三）特に朝鮮においては總督の職權を縮小し、中央政府に制肘せられるおそれあることであり、まずこんなものだらうと思ふ。なかには至極尤もと思はれる議論もあるが、然もわれ等は、拓殖省の設置に關する如上の非難は、何れも本質的のものであるとは解しない

三

なる程、我國に拓殖務省の設けられたのは明治二十九年四月であつて、それは高島鞆之助將軍に內閣の椅子を與へる手段に過ぎなかつたと思はれる。それは三十年八月廢止され、その後拓殖局が設置されても、中間拓殖事務局と縮小され、更に拓殖局と復活する等一貫せる方針といふものがない。今回の拓殖省もさういふ一時的のものに過ぎない方がよいといへるだらう。然しさきに拓殖務省の設置された當時の植民地は臺灣があつたのみで、今日とは全然事情をことにしてゐる。植民地を有する世界各國は殆ど植民省のないところはない。英國の如きは植民省の外に印度省その他があり、フランス、イタリー、オランダ等皆それがある。植民政策の重要性がますます〳〵痛切に意識されつゝある今日、我國に植民省を設けても、あながち外國の眞似ともいはれまい。行政整理とは別個の問題であらう

四

次ぎに植民地の特殊事情を無視して內地的に行政を統一化する點は、大いに警戒を要するが、それはかへつて現在の如く內閣の一局として微々たる機關に實際の植民地の仕事をさせてゐる方が、植民地の特殊事情を無視し、內閣の高壓政策の犧牲になる懸念が多いと信ずる。（三）殊に朝鮮總督の職權を縮小し、中央政府に制肘せられるといふ點については、如上拓殖省の組織要項において、朝鮮は行政上特別扱ひすることになつて居るから、まづその心配はなからう。即ち朝鮮總督はその職權一切を保ちて、たゞ現在において痛感せらるゝ如く、或はツマラヌ問題にも總督や總監が東京へ出張せねばならぬやうな煩を去り、或は法制局や何かの小役人が何も朝鮮の事情を知らぬ癖に杓子定規の屁理窟をこね廻して、總督府に迷惑を感ぜしめる等のこともなくなる利益があるであらう。」

五

それよりも一層肝腎なのは、拓殖省の設置によつて朝鮮豫算が豫算閣議にその主張すべきを主張することが出來る點である。清浦子は、朝鮮には何よりも資金が一番必要だと語つた相だが、それは確に要領を得てゐる。今年度において朝鮮の產米增殖は認められたが、未だ來年度には鐵道網の問題もあり、その他朝鮮に對して內地から資金を投ぜねばならぬ仕事は數多もあり、それは國家的に重要なる意義を帶びてゐるのだが、大藏大臣の一顰一笑によつて朝鮮統治の死命を制せられる如き現在の組織は困つたものである。」

六

或は朝鮮豫算の思ふやうにゆかぬのは、朝鮮から代議士が出てゐないためであり、この意味において參政權の解決を主張する議論も見受けるが、それは理論的にも現實的にも餘りに無造作過ぎる。理論的方面は暫く措くも、朝鮮から僅の代議士が出るよりも、拓殖大臣が閣議で朝鮮のために踏張つてくれる方が、大いに賴母しい。政黨內閣における大臣の地位は、超然內閣のそれよりも遥に有力である。英國の如きも內閣が即ち議會の中心である。これを思へば朝鮮のために。有力なる拓殖大臣を要するゆゑん、多言を要しないであらう。」

內閣の壽命 議會まで持越す見込み

解散のあとには政治上の爭ひから右左兩派の思想惡化する

青木信光子の觀測

【東京電報】時局問題について研究會の青木信光子は語る「佐竹次官の辭任問題については八方から色々のことをいつて來るがうつかり發表することはないことを斷言する。いつてゐる通り現在および近き將來において研究會出身政務官の辭職が一部に傳へられてゐるが豫ていつて居る通り辭任することはない…べきことである、中間內閣說については政黨の支持なき超然內閣が出來てそれで又護憲運動が起こらなかつたら不思議と申さねばならない」

…機に見える、然し議會は內閣瓦解か解散か何れにしても紙一重に迫ることだけはもはや動かせないが解散の結果議會更に激しくなり政治上の爭ひとなることは惡ふまい」

研究會 け續々に態度を決定しない、研究部では折角調査中であるが輕く是非の判斷は下さないであらう、特に私はこの際積極的行動を避け大勢の趨く處に注意を拂ふ積りである、現在の政局より見れば

政府も 議會までは行く

減刑奏請の理由を質す

林次官の出席を求めて 公正會の調査會

【東京電報】公正會の林次官問題調査會、政務調査第一、二聯合會は廿五日午前十時開會各部委員十余名出席、司法省より林次官の出席を求め林次官より本件の經過を聽取し、質問に入り加藤定吉男、『豫審調書の寫しが外部に洩れたについて當局は如何と見るか』と質し林次官、「これは寧ろ辯護士の懲戒問題である」と答へ次いで黑田、稻原兩男より減刑奏請の理由について質し、林次官はこの點について十分なる說明をなさず次回に說明を行ふこととなつた、最後に臨席男より豫審調書の漏洩目的を質したが林次官は監督官廳通りの答辯より外その事由を有せずと答へ、午後四時廿分散會したが急に次官の說明を近日聽取せんと

協同策戰を喜ばぬ本黨

政友會合同組の策動に顏をそむける

【東京電報】政友會の一部は相變らず政本兩派の協同策戰をとりあはよくば兩派提攜迄こぎつけんと廿三日の如き政友本黨有志代議士會を開き中橋、水野の策を弄してゐるが本黨は內閣問題に對する本黨の態度硬化し現內閣打倒に決定すると共にこの際鈴木三氏はじめ鳩山等同交系の指揮をなしたがこれに對し本黨は相變らず政府の態度を超越した國家の爲め大問題として政府の態度に出でてゐる際でこれを以て政本協同策戰に出るか否かは別問題だと不快の色を現してゐる

補助貨幣の統一に手數料を出して

舊貨幣を引揚げる

補助貨幣には種類があつて額面が同じでも形が異つてゐたり、同じ形で額面が異つてゐて不便が少くないので政府は舊補助貨幣の回收の必要を認めてゐたが

今度は 舊補助貨幣を日本銀行本支店や又は代理店（朝鮮銀行本支店）に持參して新補助貨幣とひきかへを申出でる向きに對してけ手數料を出す事にしこの旨政府から本府に通知があつたので廿五日これを全道知事に通達して周知せしめるやう通達した、その手數料は左の如くである

種類は 現行補助貨以外の補助貨にして左の如き物である

▲大正十年以前の五十錢、廿錢、十錢、五錢の銀貨
▲大正八年以前の五錢の白銅貨
▲大正四年以前の二錢、一錢、半錢の銅貨

手數料

一、五十錢の前記銀貨百個に付十五錢
二、廿錢、十錢、五錢銀貨と五錢の白銅百個に付き十錢
三、二錢、一錢、半錢銅貨百個に付五錢
▲一、二、三の種類が混交で百個に滿たぬ端數は百個に付十錢
▲一、二、三の種類が混交で百個に滿たぬ端數の混交は百個に付五錢

長津江電力

第一期事業費の二三千萬圓で 設立事務に着手

【東京電報】三菱では去る廿一日朝鮮總督府から長津江電力會社設立認可があつたのでいよ〳〵これより設立事務にとりかゝることとなつたが發起人中の松田貞二郎、齋藤賢次郎の兩氏が目下渡鮮中のためその歸京を待つて具體的決定を見るべく同社の目的は電氣分解による肥料、窒素肥料、電氣工業等による電力供給その他附帶事業で工事を四期に分ち第一期工事として六四〇〇〇キロワツトの發電所を完成のはずにて總經費一億萬圓を要するも差當り第一期事業費として資本總額を二、三千萬圓として創立せんとするものである、創立のあかつきは朝鮮はもとより滿洲までも電力を供給するはずである

將來有望な朝鮮の工業

內地資本家の覺醒と投資を望む

清浦子奉天で語る

【奉天廿五日發電】清浦子は廿五日午後一時藤村、池田兩男その他一行を從へ在奉官民、張作霖代理楊宇霆、吳俊陞等の盛大なる出迎へを受け安奉線にて來奉したが途中まで、出迎への記者に對して語る

今回余の支那視察はいろ〳〵の事情を實地に見たいとであるので出來るだけ多くの人に接して意見を交換する考へである

朝鮮は 將來工業の發達をはからねばなるまい、原料及燃料の豐富な朝鮮に對し內地資本家が今少し覺醒して堅實な投資をなし、土をして經營せしめれば決して不成功に終ることはあるまい、滿洲は全支那視察の一部として、みるつもりで特に奉天は十數年前一度見たのみで其後大部變化してゐることと思ふ、張作霖氏にも面會していろ〳〵意見の交換をなす積りだが實際

見たり 聽いたりした上でなければ充分意見も吐くことは出來ぬが奉天四頭政治の如きも國家と言ふ觀念を忘れず互に相調和して政務の遂行をなせば決して不都合が起る譯はないと思ふ現在在滿同胞は經濟上に行詰つてゐる樣であるが之は不景氣の影響もあらうが從來營業者が餘り放漫な投資をした結果と思ふ、將來充分調査し

投資の 途を誤らねば相當の結果を得るは難くあるまい

米國參謀總長

【ナウエン廿三日放送】米國陸軍少將ジユン・ヒユメラル氏は參謀總長に任命された

しなば茶

總督府の來年度豫算は目下草間財務局長が血眼となつて連日連夜その査定を急いで居る▲今年の新規要求は七百六十七萬八千餘圓であつたが、査定の結果をまたねば判明せぬとはいへ今年より來年度の新規要求が多額に上ることは判りきつた話し▲然しながらその新規要求が何程に上らうと總監をはじめ、財務當局も大概なものは一蹴して來年度は鐵道第一主義で進むといふはらをきめて居る▲從つて余程緊急やむを得ないもの以外はまづ新規事業の要求は駄目と見て差支ないが一面から見るとこれは甚だ慘酷な遣り方である▲けれども財政にかられてあれもこれもと一々れにやらずにバラ〳〵に事業をやつて來たのがこれまでの豫算編成の失敗で▲內地の如く財源の豐富なところはいざ知らず、朝鮮の如き貧弱な世帶において、この方法ではさつぱり事業がはかどらぬ▲かうした所から來年度は徹頭徹尾鐵道第一主義に全力をあげるといふことになつたものだが、故下岡總監の如き早くもこの主張で勝頭に產米增殖に全力を注いだ▲小の虫を殺して大の虫をたすけるといふやり口に外ならぬが、成功すればわれ等もこの方法が最も賢明の策と信ずる。

支那が英國に聯盟總會で抗議

萬縣事件で正式に

【ゼネヴア廿四日發電】國際聯盟理事會に新に加入を許された支那代表朱兆莘氏はさきに萬縣で英艦が砲擊を加へた事に關し聯盟總會の席上で正式に抗議するところありこれが爲一千以上の人が死亡したと稱され一千以上の家屋が破壞されたと聲明し聯盟がこれを考慮して之が解決を促さん事を要求した朱兆莘氏は更に去七八兩日中英艦船は全速力で楊子江を溯航し支那船舶を沈沒せしめ百名以上の支那人を溺死せしめて顧みなかつたと抗議した

支那の行爲 驚く外ない

支那側の抗議に 英國代表の辯駁

朱兆莘氏の抗議に對し英國代表ロバートセシル卿は聯盟總會席上で「支那が萬縣事件を國際聯盟の前に持ち出した行爲は甚だ驚くべきである、蓋し英國の報道は支那の言ひ分と一致せぬ、又英國では本件については地方官憲と交涉し之を解決せんとしてをり朱兆莘が本件を早急に聯盟に持出したことは形勢の緩和を妨ぐるものとは信ぜられぬ」と辯駁した

シヤム文相 渡日の途につく

【北京廿五日發電】シヤム國文部大臣ダンニコウ氏は廿五日入時北京を出發經路日本へ向つた

日支互惠協定で條約締結の方針

外務省の態度內定

【東京電報】日支通商條約改訂につき外務省は支那が完全に關稅自主權回復までは列國の利益と支那の面目を尊重して互惠協定により關稅條約を日支兩國間に締結する意向であると

稅制會議 …を終へて… —（11）—

清酒一升について 約三十錢の稅金

一人が一日三圓飲む勘定で 稅金は何れも上戶黨の負擔

酒稅値上げを廳議の原案によつて斷行するとせば、朝鮮の酒稅は濁酒石三十圓內外、朝鮮酒たる藥酒石二圓五圓內外、燒酒石八圓五圓、ビールは石十四八、九十錢內外、同藥酒石八圓五十錢內外くらゐになるであらう。さすれば酒一升で約三十錢、ビール四合罎一本で五錢內外、藥酒一合で二錢五厘內外、燒酒一合で八錢五厘內外の稅金となりこれは何づれも上戶黨の負擔となる譯で、清酒一升を呑んで三十錢內外の稅金を納めつゝあることを自覺すればうか〳〵と酒も呑めないことになる。然しながらこれは生活上必ずしもなくてはならぬといふほどのものでもなく、即ち嗜好品として取扱はれてゐる關係上、至愛な愛酒家でも値上に決定したものである。◇

然らば朝鮮においては現在酒類にどれだけの生產があるかを調査して見ると內地から移入されるビールが約三萬石、同じく清酒が約一萬二千石、朝鮮の釀造にかゝる清酒が五萬四千石、燒酎が二十萬石、濁酒が百二十四、五萬石、藥酒が七萬石、その他の製藥酒が二、三千石におよび、更に自家用たる濁酒並に藥酒を合せ約三十萬石同じく自家用燒酎が一萬石內外で、以上朝鮮で醸造されるものと內地移入のものとを合すれば合計百九十二萬八千石、即ち約二百萬石である。しかしてこれが朝鮮半島一千九百萬人によつて消化されるのであるが、いま、これを一人あたりとすると一人一ケ年に一斗一升強といふ勘定となり、一ケ月一升約九合、一日一人約三勺の酒を消化しつゝある勘定になるのである。◇

しかしてこれによる目下總督府の酒稅の總收入は約八百四十萬圓に達してゐるが、假に今回豫定の二割の値上げを斷行するとして、酒稅の總收入一千萬圓となる。即ち値上げした今回の當局の計劃も大體この邊に置かれてゐるのである。◇

然しながらここに最も考慮せねばならぬことは、果して豫定通り當局が一千萬圓の收入をあげうるや否やであつて、もし需要者が漸次下等の濁酒を希望するとか、或は成るべく辛抱して酒を手控へするとか、或は密酒するものがありとすれば、需給關係から自然醸造も手控へするといふことになり、その結果生產の減少を來たさねばならぬ。さすれば當局としても豫定の如くこの收入をあげ得ないことは必然の理であつて、この點よりせば當局が徒らに收入增加をはかるためのみに今回この値上げを斷行するとのみ見ることはいさゝか即斷である。要するに嗜好品として一般の意向が一致するところがあり一つは以て國民奢侈の風を戒めるために遂にこの値上げを斷行するに至つたものである（つゞく）

閑院宮戰蹟御訪問（廿四日二〇三高地で）

實業團野球大會

る事とて面白い試合をみせる事だらう（廿五日午…）

鐵友俱樂部、殖產銀行、京城電氣、京城工場…

死刑を宣告

京日案內

朝鮮勸業信託株式會社 大正十五年十月一日より第九回定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス

一等 一千五百圓貯金付 第七回復興貯蓄債券 初回十月一日抽籤 殘品少數 京城明治町二丁目八二 第一殖產社

文藝 雜誌大衆文藝會員募集 作品を以て編輯す 京城永樂町三丁目

貸家 六疊四疊半三疊玄關付 瓦斯水道の設備あり 京城旭町一ノ一六四 家賃金拾五圓也 電話本局二一九〇九番 高田邦之助

簿記 教授開始十月九日 年齡不問 京城長谷川町八十九番地 實踐簿記專修學院

恩給 京城竹添町

恩給 安全確實 京城古市町 江州屋本店

毛糸 ビクターと云ふ大變よい毛糸が參りました 見本は御申越次第 京城本町二丁目 ちよぶや毛糸部

漆器 各種漆器 北米倉町 電本一七〇九 江戶屋漆器店

銃修 理多年の經驗により 京城明治町 藤川銃砲店

古本 誠實買入御報參上 文光堂書店

買入 御不用の洋服類及雜貨一切高價買入ます 佐賀屋洋服店

南京 虫全滅殺 京城黃金町四丁目 森藥局

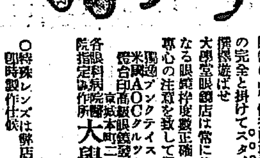
內地 入店員を求む 京城本町二丁目 友田米店

外務部員招聘

收入多し 履歷書添付照會あれ 返信

東京市神田區 紅葉屋商會

眼鏡專門



眼鏡は品質優秀度數確實にして顏の完全と掛けてスタイルの好き眼鏡を撰擇遊ばせ

大學堂眼鏡店は常に其旨を含み完全なる眼鏡枠度數正確なるレンズの調作に專心の注意を致して居ます

獨逸ブンクテイスコーレンズ 米國AOクルツクスレンズ 特約 最高級眼鏡發賣元

各眼科病院指定調作所 京城本町二丁目 大學堂眼鏡店

○特殊レンズは弊店工場に於て即時製作仕候

北島醫院

內科 胃腸病 小兒科 神經科

京城本町三丁目十八番地 電話本局三二七

全國オートバイ大競走會

ハーレーダビツトソン

朝鮮總代理店 カタログ進呈

京城黃金町二丁目 中西自轉車店 電話本局二三六七

英語を學ぶ人の心得

初學必讀 無代進呈 希望者は葉書に住所氏名を書いて御申込あれ

趣味ある不動貯金

獎勵金貳千圓附 每月發行 一券壹圓

入會 抽籤 當籤 仕組 利子

は不動貯金券をお求めになれば、それで直に會員になります 一券每に獎勵金貳千圓の抽籤權が得られます

は每月十日、官廳、新聞記者、一般公衆立會の上公平なる方法により執行、その結果は諸新聞紙に廣告致します

金に直に御支拂ひ致します、抽籤が濟んだ貯金券はそのまゝお持になれば貯金として貯金になる

です、初回から御入會の方は、かくして二年間（二十四ケ月）掛込み後二ケ年間据置きますと會社はこれに對して

金三圓を附し元利金三十七圓をお返し致します、中途解約の御方には其の割合でお返し致します

目下丙組第五回券發賣中 抽籤日十月十日

貯金券は代金御送付次第御送付致します 取次店募集 御希望の御方は御一報次第手數料を差上げます

大連市信濃町 振替口座大連二一九〇〇番 滿洲不動貯金株式會社

見本陳列 秋冬向新柄品揃

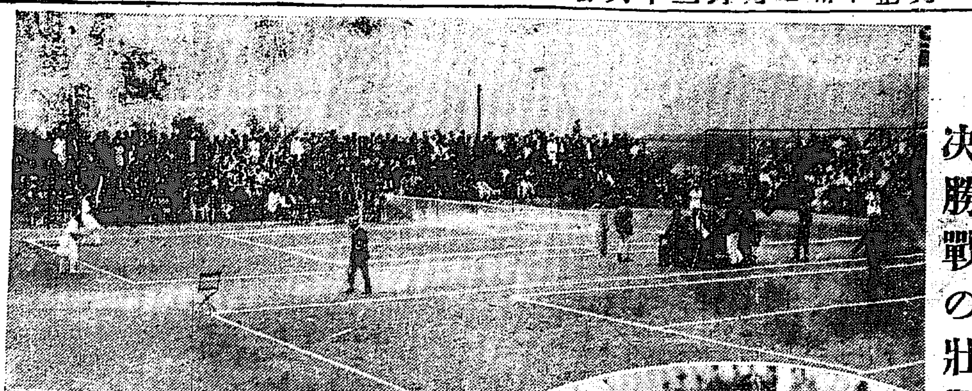
登錄商標 OTANI

全國各地著名百貨店洋品店雜貨店吳服店等ニ販賣ス

カタログ進呈

大阪市本町四丁目 大谷シヤツカラー製造所

電話本町一一九四・一九四八・九番 振替大阪五五二番



決勝戰の壯觀

元山高女優勝す
霸權は再び池田組に
本社主催女子庭球大會終る

寫眞上は優勝した元山高女、大優勝旗を持つた池田前衛と齋藤子爵カップを持つた原後衛

燃えあがる女軍の意氣に興味はつながれて準決勝並びに決勝戰をのこした本社主催第二回全鮮女子庭球選手權大會第二日は廿五日午後二時半、京城運動場コートで催された、美しき觀衆はスタンドを埋め拍手歡呼なだれの如く雄々しい應援裡に試合は續行されたが、若き女性の胸に高鳴る血潮をたぎらした最後の優勝戰は第一回戰より共に無人の野を行く如く優勝した第二高女の淵邊組と元山高女の池田組との間に火花を散らした、しかして遂に勝利の榮冠は元山高女の手に歸して再び池田、原兩選手は昨年につゞいて本年もまた選手權保持の名譽をになつた、麗しきも[illegible]も渦、壯んなる大會の幕は、かくて女子スポーツの歡興を最高潮に導いて終りをつげた

第三回戰

Aコート

平壤高女（加野木、大塚）二—四　平女高普（[illegible]）

Bコート

第四回戰

第二高女（淵邊、戸井）四—一　平壤高女（足立、[illegible]）

かくて遂にクオーターファイナルに入つたが今は殘る惡ズくが精鋭であり彼敵で滿場全くたゞ一個のボールの行方を凝視して時に寂として林の如く靜かに時に突として萬雷の落つるが如き拍手と聲援とに悲壯なる戰場面を展開し乍ら試合は次々と進んでいつた

培花（禹千福、文玉善）1—4、1—4、5—3、4—1、5—7、1—4　2—4　平女（福永、馬場）

三回戰に平壤高女は精鋭二組を倒して立つたが最初二ゲームを先取されたのと顯役的寂しさから次ぎにファイヴスリー、フオアーワンとつゞいてとつたものの次のゲームをセヴンファイヴの接戰で敗れてあとのゲームもとれず遂に四對二で敗退

平壤（横山、長谷川）4—3、1—4、4—1、5—3、4—1　4—1　女高普（日浦）

長谷川日浦組接戰して一ゲーム先取したのに力を得て先づ勝味を示しつぎの一ゲームをフオアワンでとられたが又一ゲーム得てリードし且兩組共プレシングヴオレー何れもよく極つて勝つ

平壤高普（崔以順、裘運植）5—3、8—6、4—1、4—1　4—0　第二高女（淵邊、戸井）

渡邊戸井組先一づゲーム先取してのちゼロスリーのピンチに際したが戸井孃プレシングを三本つゞけてジユースとなり彼れ一球此れ一打搖裂組の健鬪に全くクロスゲームをつゞけたが、いかなる球も打ち返す渡邊孃のパツクの當りすばらしくエイトシツクスで勝ちあと二ゲームは易々と第二勝つたが共接戰ぶり全く大會中屈指の好試合であつた

平壤（玉寶信、金貞信）1—4、1—4、4—6、1—2、4—4　4—3　元山（池田、原）

一ゲーム難なく得た原田池組は第二ゲームをアウトとネツトインで自滅し第三ゲームで又リードしたが金玉組のファイティングスピリツト旺盛によく攻めて第三ゲームを奪ひ接戰に接戰を重ねた後池田孃の鮮かなネツトプレイと原孃の卓拔したヘッドワークは遂に四對三のクロスゲームで元山勝つた

準優勝戰

培花（文玉善、禹千福）1—4、1—4、1—4、1—4　0—4　第二高女（淵邊、戸井）

文禹組よく力戰したが渡邊戸井組最初から壓迫してストレートで勝つ

元山（池田、原）5—3、4—2、2—4、4—1、5—3　1—1　平壤（長谷川、日浦）

池田孃がヴオレーで先づ得た一點から一度ジユースしたものゝとんとんとリードしてファイヴスリーで第一ゲームを得た原池田組が常に壓迫しつゝ第三ゲームを許したのみで四對一で勝つ

優勝戰

選ばるゝ時は遂に來た全鮮女子庭球界のクヰンと輝くは誰ぞ、最後を許されたるものゝ二組がコートに立つたとき滿場の觀衆と拍手はしばし止まず宮田正審の朗らかなプレイに愈々霸權を爭ふ大試合は始られたのである

元山（池田、原）2—4、3—5、2—4、4—2、5—3、4—1、4—1　4—3　第二高女（淵邊、戸井）

最初の三ゲームは戸井孃の猛烈なスマツシング、ヴオレーと渡邊孃の鮮なバツクストロークでぐんぐんと壓倒していつたがそれ迄ミスをくり返した池田孃は原孃と共に必死の勢で攻め立てゝ第四ゲームを奪ひ第五ゲームもジユース後勝ち戸井渡邊孃は全くおしい負け方をしたがこれこそキヤスティングボートを握つたポイントでつゞいてフオアワンフオアワンで遂に池田原組の優勝する所となり拍手喝采歡呼、歎聲等のオーゲストラ裡に終つた

賞品授與
池田、原孃が拍手を浴びて

かくて賞品授與式にうつり榮ある大優勝旗は本社角田編輯局長より原孃に總督カツプは池田孃に授與されたが滿場の拍手は兩孃の上に急霰の如く降つた、つゞいて永久に歸る本社記念カツプを一個づゝ贈呈洋服一着づゝ本社メダル[illegible]

優勝旗を擁し
選手一行歸る

全鮮女子庭球選手權大會に優勝した元山高女の選手一行は榮ある優勝旗をひるがへして廿五日午後十一時發列車で多數の見送りを受け意氣の膝に送られて歸元した

體育協會メダルを呈し惜敗した第二高女の戸井渡邊兩孃にはラケツトとメダル一つづゝ準勝戰で惜敗した培花の文禹兩孃平壤高女の長谷川日浦兩孃にも記念メダルを贈つて大會をとぢた時に五時五十分

感謝

第二回全鮮女子庭球選手權大會開催につきまして審判委員諸氏はじめ各關係者各位の御盡力に對して深甚なる謝意を表します

京城日報社

六大學野球戰
法政四立教三
明三A帝大一

【東京電報】六大學野球リーグ戰立教對法政第一回戰は廿五日午後二時卅五分長野球場で開始両田(球)背木(鸚)審判法政先攻法政は二回一點三回三點立教は四回二點九回一點を入れ四對三で立教惜敗又帝大明大は二時四十分から駒場球場で長崎岡上兩審判の下に帝大先攻五回で帝大一點を入れしに反し明大は四回一點五回一點八回で一點を入れ三A對一で明大捷つ

專門學校陸上競技

專門學校體育聯盟主催第三回聯合陸上競技會は雨天のため一日日延べし廿五日京城運動場にて催した

十大學ボートレース

【東京電報】帝都十大學ボートレース第一日は廿五日午前十時四十分から隅田川コースにおいて擧行豫選は觀衆を以て埋まつた

A組　一着　早稻田　九分三十秒六
　　　一着　日大　一着との差三艇身
　　　三着　大倉　二着との差一艇身半

B組　一着　明大　九分フラツト
　　　二着　商大　一着との差一艇身
　　　三着　慶大　差十艇身

C組　一着　高等師範　九分二十三秒五分三
　　　二着　千葉醫大　一着との一艇身半
　　　三着　高工　二着との差三艇身

D組　一着　帝大　九分三十五秒五分二
　　　二着　外語　一着との差七艇身半

なほ廿六日の決勝組合せは高崎對明大、早大對帝大である

訪日の波蘭機
廿四日モスコーに着く

【モスコー廿四日發電】訪日波蘭機は廿四日午後モスコーに無事到着した廿五日ワルソー着の豫定

拳銃と仕込杖の亂鬪
訓練院前で三人殺傷す
自動自轉車競走會の紛擾から
事件は引續き本町署で取調中

訓練院廣場で初日の蓋をあけたオートバイ大會の第一日がはねた廿五日午後六時頃まだ見物人の影が電車を待ちあはせて居る京城師範附屬校前電車停留所でオートバイ競走を中心とした殺人事件が行はれた、加害者はピストルで相手の二人をうち一人を即死せしめ、一人には重傷を負はせ自身もまた仕込杖で腦天を斬られ重傷のまゝ本町署員の手に取押へられた、直接京城地方法院からも檢事出張現場檢證を行ひ引續き事件は本町署で嚴重な取調べをつゞけてゐるが何しろ直接關係の三人が死傷してゐるので取調べに困難を來たし兇行の動機をつまびらかにしないが、オートバイ競技大會を開催するに當たつて主催者と無頼漢との間になすばれた紛紛が直接の原因をなしたものと見られてゐる

いきなり狙擊す
斬られながら又一發
一人は即死し二人は重傷

オートバイ大會開催について肝いりをした府内並木町一四六松本興樂部主人松本市太郎(三)はこの日大會の手傳ひに來てゐた府内本町五丁目三五栗人角力若藤事山崎某(三)を伴つて歸途につくべく京師前で電車待合中、花園町方面から一人の男が疾風の如く走つてきて『松本うつぞ』と怒號するや、隱したる一發に松本氏の左腕關節をうち拔き、悲鳴をあげて同氏の倒れるや、山崎は持參してゐた刃渡り一尺六寸の仕込杖を引拔いて、男に切りつけたが、男は腦天をきられると同時に更に一發を放つて山崎の胸部を貫き、山崎の即死すると見定めるや今一發を捨うちした後男はピストルを地上に打捨て傷手を手で押へながら花園町方面へよろめきながら逃走した、また明るい頃とて、ピストルの音に附近の人々がかけつけ

血に塗

れた現場は黑山の如き人に驅けつけた警官の制止の聲も物凄く電車も人の波に走れず停まる樣な騷ぎであつた、府内各署は急報により非常警戒を行つた鐵乘馬クラブ前の人の中につんのめつて居たピストルの男は難なく追跡の警官に逮捕され、花園町駐在所に連行された、京城地方法院から中野檢事、本町署から手賀司法主任、同署に急報し取調べの結果、男は府內樓智町五七通稱よし事片山芳忠(三)と判明したが、頗る

重態な

ので直に總督府醫院に松本氏は直に植村病院に何れも收容し應急手當を施してをり山崎は即死してゐるので繃包として植村病院に收容中である

彈は胸から背を貫く
若藤の致命傷

即死した若藤の死體は繃包になり荷車で植村病院に運ばれ九時半中野檢事手賀本町署司法主任立會で植村院長の檢案を行つた、若藤の致命傷は左肺より右胸背部を貫通する銃創で鼻、口、耳等より夥しく出血し物凄い死相を呈してゐた、檢視後若藤の死體は同夜松本方身内の者等が引取つた

植村病院に運ばれた若藤の死體

片山に輸血手術
命は取止るか

重傷を受けた片山芳忠(三)は直に總督府醫院にかつぎ込み宿直李內科谷川兩醫員の手で直に應急手當てを受けたが非常な重態で手術は本人の友人小林の血液をとり輸血を施した、キズは額部に長約七時背部に同七時位深さ各二時程の刀創で左頰、頭部にも一ケ所づゝの切創を受けてゐる

松本は三週間で全治

重傷を負ふた松本は午後六時四十分永樂町の植村病院に擔ぎ込まれ直に植村院長の執刀で大手術を行つたが傷は右腕上膊の內側に貫通銃創を負ひ動脈を切斷する貫通銃傷で彈丸は附近の筋肉を挫滅し余勢をもつて胸部に輕傷の擦過傷を與へてゐる、手術は七時より約一時間半費し手術後松本は同院の病室に移され身內の者等がつききりで看護に努めてゐるが松本は全治三週間を要する見込である

殺された若藤
力自慢で力士上りの男

ピストルで殺された若藤はかねて强力をもつて知られてゐる男だが同人は若藤といふ力士であつた關係から若藤々々で通つてゐたもので本名は山崎と稱し最近統營方面から京城に流れ込み松本のもとに身を寄せてゐたものらしい

無心を斷られて片山の兇行か
調べた上でなければ分らぬ
鈴木本町署長談

兇行の原因については、目下本町署で取調べ中であるがピストルをうつた片山芳忠も、被害者の松本も重傷であり、山崎は即死してゐるので、頗る取調べに困難である、が、廿五日の晝、片山が酒を呑んで醉つぱらつてオートバイ大會に現れ、くだを卷いてゐたので、松本氏がこれをかためてゐた形跡があるので片山はこれに不快を抱きこゝに松本氏に殺意を抱いてこの兇行におよんだものではないかといはれてゐる鈴木本町署長は本事件につき左の如く語つた『原因は回く單純なものだと思つてゐる、つまり松本等が今度のオートバイ競走の催しをするについて片山等が無心でも吹かけたのを斷られた腹癒せに兇行を演じたものではないかと思はれる關係や消防組員等には全然關係ないとみて居る肝心の松本が重傷なので同人の話をきくまでは確實な眞相は判らない』

本町署の非常召集

本町署では鈴木署長以下各係主任全部を召集し活動したが京鐵消防警部の李刑事課長も同署に馳つけた中野檢事も同署に至り署長室に於て說話を取調へて事件の經路に就き聽取した

鐵道隊の派遣兵が營養不良で苦しむ
給與不足の六百數十名
夜盲患者も出る

四名の殉職者まで出して鐵道の敷設に獻身的努力をささげつゝある鐵道隊工事中の千葉鐵道聯隊兵士六百數十名は昨今給與の不足から非常な困苦をなめつゝあると聞へられてゐる、この派遣部隊は內地の規定から送金を受けてゐる者も多數あるが軍隊では事情やむを得ず給與同樣の給與金で切廻してゐるので物價高の朝鮮では副食物等も意の如くならずかつまた毎日の激務で營養不良となり夜盲患者さへ多數發生したさうである、かゝる狀態にあるので下士卒中には內地ずとして放任してゐる模樣だがこの哀れな事情に同情し鎭海在鄕軍人會で慰問袋六百五十個を贈り更に第二回慰問袋贈呈の計劃中

決勝戰の壯觀

[illegible]京城野球大會本年度秋季大會は來る廿七日より龍山鐵道グラウンドで擧行のはずで廿四日締切りまでに申込んだものは左の十二チームに[illegible]何れも昨年[illegible]

仁川[illegible]、京城府廳、九石倶樂部、龍山驛、伊勢商行、日本商會、遞信局、京城第一工作[illegible]

背任罪で告發

【東京電報】[illegible]丸豫審判事の手にて[illegible]

ピス鍵に

[illegible]

▲吉田勘氏（ハワイ大學教授）廿五日夕朝鮮ホテルへ

▲岸本垣三氏（黄海道警察部長）

▲[illegible]

▲アンネンオフ氏[illegible]廿五日[illegible]一行と共に[illegible]

九月廿六日ヨリ九月三十日マデ

あわじや　江頭衣服店冬物大賣出

既製品　質流品　見切物及

京城本町二丁目・電本一三一五番

森永ミルクキヤラメル大懸賞當選發表

御挨拶

先般當新聞紙上で募集致しました森永ミルクキヤラメル大懸賞問題は愛用者各位の御共鳴に依り應募解答數實に豫想外の多きに達しました事は全く深厚なる各位の御同情の賜物と深く感謝に堪へません

幸に今度の擧によりまして我がメートル法實施宣傳の上に更に又小學生諸君の應用算術教育の上に少なからず貢献し得ました事を本懷に存じます

抽籤　去る九月十一日　日本電報通信社員立會の上弊社懸賞係に於て嚴正抽籤を行ひ多數正解者中より左の通り當選者を決定致しました

正解　二・一三回

當選者氏名（敬稱省略）

壹等　拾名

長野縣上高井郡川田村字關崎　仙仁修一
秋田縣南秋田郡下井河村製井川　具田作郎
下關市武久町七三五　山瀨時雄
三重縣志摩郡鳥羽局區内桃取島　山中梅太郎
愛知縣瀬戸町　瀬戸町鉢命社內　山口武雄
兵庫縣川邊郡川西町栄根　岩田千代子
吳市本通十一丁目廿三ノ四　厚井照重
福岡縣直方町外百合野　入江英策
　貝島宗家內　神谷繁雄
福山市胡町澱良　井上英佐
兵庫縣川邊郡東谷村見野

貳等　貳拾名

奈良縣南葛城郡御所町一一八二　堀木立子
宇都宮市清住町九二　宮田耕作
甲府市御町二ノ九八　小曾恒造
埼玉縣久喜町在府御　御子柴喜久次
東京市外中野町中野一〇五一　榎木茂
長野縣更級郡篠ノ井町　常磐茂雄
福岡縣八女郡福島紺屋町　黑田郁三
名古屋市西區傳馬町五水谷方　渡邊喜市
大阪市此花區下福島五ノ二二　淺香勇
岡山縣津山町宮川　安島幸雄
廣島市袋町寺前小路　島田章博
神戸市稻葉町四ノ七　阪田登起子
北海道函館郡大磯町　佐藤便雄商店
金澤市材木町六丁目米澤方　松下富男
廣島市皆實町四丁目本通　沖一夫
京都府天田郡雀部村字土師　佐藤定男
大阪府北河内郡九ケ庄村大字北和寺七　[illegible]
北海道空知郡歌志内市街　林誠治
神戸市楠町五ノ九一　木本寶
秋田縣鹿角郡大湯町　千葉繁樹
信開宗太郎方

參等　參拾名

（東京）石井勉（京都）布川正雄（大阪）藤島繁三（同）矢野修三（靜岡）池田光子（奈良）北野隆治（同）服部治（神奈川）志村安夫（埼玉）田中義雄（鳥取）林慶榮（北海道）岩田國太郎（岡山）藤原政太郎（宮城）市野寺次太郎（島根）住江正知（千葉）鈴木孝宋郎（同）富士みつ子（岐阜）川瀬トキ子（同）藤岡三[illegible]（宮崎）金谷五郎（福岡）藤井勝治（福島）加藤一雄（佐賀）山口みち子（山梨）酒田金寶（栃木）山崎正義（栃木）大熊友義（群馬）桑島輝子（靜岡）瀧村妙子（兵庫）氷野晃（同）石倉正家（同）岩田賢村

お斷り　四、五等の當選者へは賞品發送を以て當選御通知に代へますから左樣御承知を願ひます

東京　森永製菓株式會社

世界一の白馬印ウヰスキー　論より證據先づ一杯を試みられよ

京城永樂町二丁目　入院隨意　酒井婦人病院　酒井一郎　電話一八一番　三三〇三番

途上【49】

宮崎光男作　梅津星耕畫

（中篇）　（十三）

「……。」
「……。」

沈默の笑ひを顏一ぱいにひろげて、そうッと、そこに佇み濟ましたニ人の顏を見ると德原夫人はあたかも自分の眼を疑ふかのやうに

「まア……。」と驚いて、「だつて、椰子ちやんまで一緒なんだもの、わたし、まぼろしかしらんと思つたわ。」

と、病氣やつれでめつきり肉が落ちて、そして、いやにきなッぽくすさんだ顏を、でも、椰子だけは明るく見せて歡喜した。

「わたしも驚いちまいましたわ。でも嬉しさ、わたしがこの館らがかつた時とすると、眼がひどく落くぼんぢやつて……。わたし、お父うさまのお話しだけでは、こんなやあるまいと想像してましたのに。」

須美子は椰子と共に、病夫人の枕邊近くところに坐つて、夫人の顏に、まじまじと見入りながらいつた。夫人のこんどの入院の日から、は一ケ月ばかりの時。そして、今からはちやうど二ケ月ほど前、須美子が德原と一緒にその時が二度目のお見舞をした時まではまだ夫人の頰骨はかくれてゐたし、瞼は年相應にはふつくらとして、今見るやうに、獨の眼を思はせるやうなおもむきは、ちつともきざしてはゐなかつた。第一、入れ齒をでもしたかに思へる眼のふちの皺襞はどう作用されて出來たものだらうか。まだ、芽立頭の玉ねぎにも、らべたい縦びつぱなしの髮は。たら――その恐ろしい脫毛は、何んとしたものであらう。須美子はそんなことを考へて來ると、夫人が病魔のかたまりのやうにも思へて、暗憺な氣持に襲はれると共にさうした病魔の罪惡に、今更のやうにもお氣を偲ふして、思はず身に寒氣を覺えたのであつた。そして、恐ろしい病魔の移動

者である德原の、今はもう拯濟したといふ證に對して、雖に不安が感じられ出したと共に、自分自身の態を氣づかう愛着さが、瞬時、その胸を閉すのを意識したのだつた。が、それにも拘らず、夫人は相變らずの無祗託さで、

「へえ、さうを。わたし、自分ぢやそれほどの氣もしないんだけど、何んしろこゝんとこ二週間ばかりといふものは、まるで、燒けぎりでもふみ込まれてるやうな痛さで、腰の關節が疼み通したんですもの。」

と、持ち前の氣丈さを見せて、

けろりとしてみるのだつた。その態度が極めて自然なだけに、須美子は呆氣にとられることも一倍で一寸、二の句が見出だせなかつたその時、椰子が待つてみたといふやうに、代つて口を開いた。

「ぢやお母アさま、こゝんとこ隨分心細かつたでしよ?さういつておよこしになれば、お父うさまの代りに、お姉えさまとあたしが來るんだつたわ。」

「それはいけませんよ。」と夫人は、やさしく抑へて、「椰子ちやんには御勉強のことがあるんですもの、お母アさまのことなど心配しないで、その方に精を出さなくつちやね。さうして早く一人前になつて、その上で、せいぜいお母アさまの代りをしてくれなくつちやね。それにねえ椰子ちやん、お母アさまはからしてたからつて、ちつとも心細くはないのよ。苦しんでる時に皆んなを眼の前に見るのは苦しさに輪をかけるやうなものだけど、一人ぽつちで靜かに皆んなのことを考へてると、何んだかから、かへつて皆んなに力づけられてるやうな氣がして、心丈夫

だし、想像のおかげで氣まぎれもするの。」

「だけどお母アさまの體、からやつて、おしまひにはどうなるの?あたし、それが心配だわ」

「なアにね……。」夫人は事もなげにかたづけやうとしたのだつた。が、たちまち、いひ詰つてしまつた。

「……。」

椰子は不審さうに、母の戶まどひ顏を見まもつた。

本町一丁目の 渡邊寫眞館 電本三九二

滿田齒科醫院 京城本町二丁目（朝鮮銀行通）電話本局三九一四番

京染 みのや 一等

南山町みどりや 美味で評判の 東京もなか 電本三三三番 小饅頭も賣出しました

京日短歌

尾上柴舟選　（一）

題「玻璃」

◇ 京城 得富 三葉　日もすがら玻璃器の中に生魚らはちひさき命を樂しみてあり
◇ 安城 田淵 丘人　玻璃の戶に映る灯の影君のかげわが眼とふともかち合ひにけり
◇ 京城 山口みどり　浴み終へ玻璃戶を締れば山の風邪をなでつゝ谷は夜あけず
◇ 北背 生田 夏樹　うつろなる瞳投ぐれば夕陽降る玻璃戶の椰色の寄しも
◇ 京城 山田薫那鷗　ゆあみして疲れし心うつとりと玻璃戶越しみる月おぼろなり
◇ 温陽 井村 君歌　一ひらの杏の花の玻璃窓にしつとりつきて小雨はやまず
◇ 鏡南浦 松永まさし　山火事のそのくれなゐが靜かにも玻璃戶にうつる宵のかなしさ

學藝界

◇全國小學教員會議　東京赤坂區青山師範學校で十一月十三日より三日間、參會資格は朝鮮、樺太、道府縣市都教育會の會員たる小學教員、會費は三圓五十錢（汽車賃は五割引）
◇龍山華吟社　廿七日午後七時より龍山驛前樋山章山氏方で俳句會開催。宿題は木の實、秋晴、小鳥網、題詠五句。
◇佐藤濟氏（詩人）月末東京より歸城、京城詩話會に盡力する由
◇金岸曙氏（同）自署詩集よりの譯詩を亞細亞詩脈に寄せた。
◇熊谷正蟬氏（俳人）寧邊より平壤に歸つた。
◇廣瀨盆城氏（同）廿五日楚山出發歸國へ歸省。二十日間の豫定

紙鳶ちり居る稲や土俵跡　未草
相撲まるゝし足跡みならし　鷺草
逆水に雨林食ひいぼむし　長翔郎
風鳴る枝にはらいぼむしり　一夕
蟋蟀の錢に傚りし葉裏かな　杜沼
廟守の帶に怒る蟷螂かな　闇の秋

定州俳句會（銀城報）

ほろ／＼となる稲笛や花芒　崗花
何行く亘船よ秋の海はろか　瑠浦
虫二つとびつく風の芒かな　惑星
夕霧や街の灯淡く包みゐし　罪耳
夕日しばし丘を照して芒哉　蘭水
投入れし貝殼よどむ秋の海　玻瑠子
眞新ちな物干高く秋の海　幽香女
移動く彩種に陽の上りけり　銀城

水原俳句會（倚朝子報）

蟋蟀や下駄の歯焉む鄕は暗く　雨田
蟋蟀の灰皿うつる鄕卓子　蝸牛洞
蟋蟀や湯浴の妻の輕き咳　よしを
蟋蟀の鳴くや庭石濕り來し　紫水
炭出しに蟋蟀居る濕り土間　白雲洞
炭俵はぐれば飛べるちゝろ虫　孤女
蟋蟀や圖棚に挿せる一輪花　倚朝子

鳳鳴會例會（原州蛙川報）

夕暗や渡かの鳴子東窓より　東鐵
黨釣るや倶々一家総出して　紅村
小屋に人眠りる見しゝ鳴子なる　鳴川
鳴子網とりし格子や日當る　微紅
高鳴りて校舍の裏の鳴子哉　蛙川

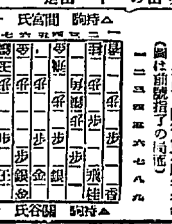
將棋新手合（二）

於東京市日本橋區蠣殼町一ノ四　滿呂木濟棋所

先手 △初段 田宮 純一（東京）
後手 ▲初段 關谷信太郎（東京）

（圖は前號指了の局面）

シナ 氏宮田 駒持△



シナ 氏谷關 駒持▲

△四七銀（ホ）▲五二金（ヘ）△五七銀▲八二玉△五五歩▲七二銀△二六飛（ト）▲二二飛△二八飛△四三金（チ）△三六歩▲同歩△同銀▲三五歩△四七銀▲七四歩△三七桂▲二四歩（リ）△同歩▲同角（以下次號）

滿呂木七段講評
（ホ）△四七銀上りは面白くない五七銀左と上るが順である
（ヘ）▲五二金上りは緩漫である
（ト）△二六飛は無意味である五六銀右と五筋の守を確實にする處である
（チ）四三金は姿が惡くなる故面白くない六四歩と突く處である
（リ）▲二四步は面白くない五一角と引いて穩樣を見る處である

珠子氏歡迎句會

――ナツメ發行所――

眼白取の後靜かに通りけり　珠子
家門は昔のまゝや新松子　同
葉莢の枝に啼く眼白日落つる　岳水
ちゝと啼く眼白木陰に日落つる　螢火
山蜘蛛の巣の一切や新松子　園の秋
天蓋の相寄る私語や新松子　休山
照り曇りそれきり寂ちり新松子　巨明
漢文の教師が伺へる目白設　末刀
こぼれ蹴の下枝ぎゃ目白啼く　公風
紙張りの店の柱や眼目白　柴牛
さげて行く籠の目白の弱り合ひ　桃黄
住職にして山守や新松子　黃耳
山の井を覗き住居も新松子　日想子
新松子聲くぼみに落ち沈み　楠畝
新松子山下に船の見えてくる　柯子
よべの雨ためし眼や新松子　衣人

京城如月會（國人報）

蜀ぎ女の野菜蹄に霧ぎけり　九選
霧時雨に庭下駄をはきに鳥　子秋
靜閑の尚つゞくべき綱へ散　浩風
朝霧や神苑の樹々雫して　夢人
反古紙の紙にへばりの朝霧　鬼耳
掛下の垂の曲りし野菊かな　隣人

ケヤキ句會（城大豫科）

蟷螂の吹かれあらはれ稲花　休山
圖の徑吹かれ行司 潤 相撲　隣雨
補賞る村の相撲の大戲かな　鮮雨
蟷螂のふんぞり返る蹴轉哉　細傳

讀者らん

▲忠南青陽郡廳局へ管内の道路惡く河川に橋梁の少いのに驚きました（赤谷面木）
▲鍾路派出所に迷子して十二歲以下の普通學校生五六名が裸體で危險を冒し水深三四尺の川を渡るを目擊しました（田舍廻りの番頭）
▲若草町の洗布屋さん縱い處で近所の洗濯物がまつ黑になります掃除をして下さい（立腹生）
▲櫻井町二の二二四にあつた牛島趣味大觀社又は共榮社居深不二雄氏の住所知り度（西大門靈由生）▲在總東入徵章一個若草町鮮人拾得し持參致し候に付直に西四軒町派出所へ屆け現品預けました（並木町警代）▲醫藥學生へ申す鄭田式醫學術の指導研究は毎週月曜日午後八時府大門醫前ユニオン商會階上において實行致しおります（常田）▲自己の觀察力により又見方によつて色々の相違がありませうけれど全く私は〇〇の映畫はつまらないと思ひます時代劇においては時に高級ファン殿よろしく紙竹をお求め遊ばせ（きよ時生）

經濟欄

喧騷て終始した 町立上大會

醜聞を

演藝案內

○○○各種肥料 外米雜穀 養鷄飼料 創業大正五年 釜山府池之町 今城商店 長電話一四八二番 ○製肥工場牧之島

黃金館（東亞 共榮）
九月二十一日封切 東亞等持院超大作 阪東妻太郎主演 大時代劇 妖刀 村正 全七巻
ファースト・ナショナル映畫 名優チャールス・レスレイ主演 無字幕映畫 哀詩 懷かしの泉 全五巻 原名（彼の學生時代）
東亞甲陽作品 現代忍劇 太陽を呑んだ男 全五巻 宮島健一主演
階上三十錢 階下二十錢 約一時間

喜樂館
九月二十一日ヨリ 實寫 東宮北海道御巡啓 一巻
洋劇 けもの、國 六巻
日活會社作品 小泉喜輔主演 喜劇 トントン拍子 七巻
日活時代劇 河部吾郎と其一黨 劍劇 日出る國の武士 七巻

中央館（マキノキネマ）
營る廿一日より特別大興行 マキノプロダクション超特作 大阪朝日新聞連載 友厚原作 解決篇 修羅八荒 全八巻 月形龍之助、マキノ輝子主演
マキノ御室本年度超時作映畫 原作眾之家乙昌 監督二川文太郎 時代劇 悲戀の巷 全十一巻 月形龍之助、マキノ輝子、武井龍三外オールスターキャスト
ファースト、ナショナル會社作 原名ゴーエシドゲットイット 飛行大活劇 最後の五分間
本興行中從來發行の招待券御斷り中止候（新友會）

大正館
二十一日ヨリ ◇今秋映畫界に放つ大巨彈◇
報知新聞連載懸賞大當選劇 原作吉井義 監督池田義信 蒲田撮影所超特作 悲劇 大ぺら陸物語 新井淳、阪田蝶子主演 二巻
大映畫 秋の歌 九巻 藤野秀夫、島田嘉七、三田英兒、林千歲、筑波雪子、八雲惠美子、小櫻葉子、井上枝子
阪東妻三郎プロダクション映畫 原作脚色監督安田憲保 阪東妻三郎主演 大劍劇 狂へる人形師 九巻 森靜子、五味國枝、鏡淳子、春路謙作、阪東要之助

浪花館（明治町 電本二六〇番）
九月二十六日より 天中軒松月一行
演題 一人三役 春風富士入道（天中軒月岩） 美久仁ノ華（天中軒月岩） 軍神廣瀨（日吉川南洲） 義士太功記（宮川秋月） 快男兒（天中軒松月）

白粉下に一番よい クラブつぼみ

玉は磨かれて輝く

良劑は其應用旺んなるに從ひ效果愈々顯る……

腸疾患治療及豫防劑 ビオフェルミン

整腸消化劑ビオフェルミンの効果は過去十余年に亘る醫界の實驗、最も雄辯に之を立證す。今や其應用益々旺んなるに從ひ其の效果更らに弘く且つ優越せるを賞せらる。愈々愛用の程を冀ふ。

（適應症）急性慢性腸加答兒、鼓腸、常習便秘、消化不良並に小兒腸疾患の總てに適應す。

粉末及錠劑あり。全國知名藥店に販賣す

發賣元 武田長兵衛商店
製造元 神戶衛生實驗所

25-609

高貴劑藥配合 洗ひ薬いらぬ 消渦根治保證 理想の內服藥 りん病 O.S オーエス
定價 一週分 一·五〇 二週分 二·八〇 三週分 四·〇〇 濟方送料不要
發賣 釜山 柵橋藥局

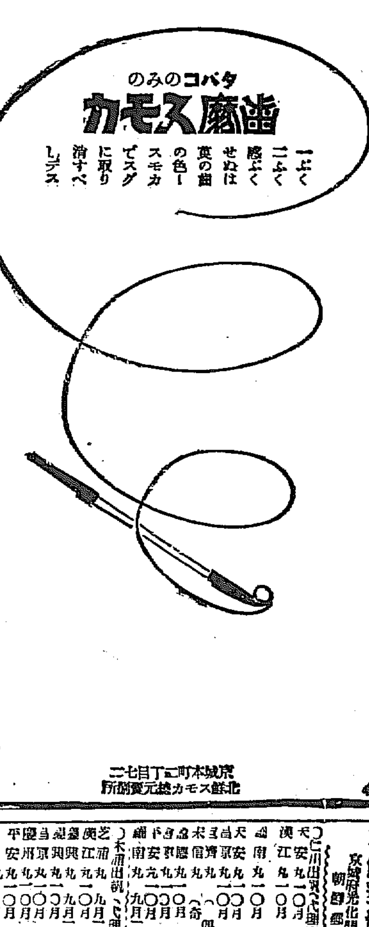
地方自宅に居て誰でも出來る 事務員 目下大至急募集
東京小石川傳通院前 國民實科大學院

⑦ 內山好亮商店肥料部
大豆粕、シート式豆粕、全國肥料販賣
電話 本店 長一八五 肥料部 長三九五
振替 京城一七〇二一

天辰齒科醫院
東京齒科醫學士 天辰親夫
仁川本町三丁目 電話九六八番

中島病院 內科 小兒科
京城府明治町二丁目（本町明治屋橫より入）
院主 中島貞信
入院隨意
電話本三七八番

のみのコバタ カモス齒磨
一ぷく二ふく 喫ふくせぬは 黄の齒の色ー スモカでスグに取り消すべしデス



定價 十五錢 御賣店ニアリ
北鮮カモス發賣元總代理店 京城本町二丁目七二
49

朝鮮郵船定期出帆廣告

朝鮮郵船株式會社 京城府光化門通二一〇

仁川出帆（代理店內國通運支店）
天安丸 一〇月六日 東京行
漢江丸 一〇月二日 大阪行
咸南丸 一〇月四日 長崎三角行
天安丸 一〇月一日 鹿兒島行
長京丸 一〇月一日 新義州行
天信丸 一〇月一日 木浦行
平安丸（奇偶）日 濟州行
京畿丸 一〇月一日 鎭南浦行
平安丸 一〇月四日 大連、青島行
咸南丸 九月二八日 釜山上海行

木浦出帆（代理店山野回漕店）
芝浦丸 九月二七日 東京行
漢江丸 一〇月四日 大阪行
長興丸 九月二六日 濟州島行
咸興丸 一〇月一日 多島海行
咸京丸 一〇月六日 仁川行
平安丸 一〇月八日 釜山上海行

釜山（出張所店大池回漕部）
芝浦丸 九月二八日 東京行
春川丸 一〇月八日 四日市大阪行
江南丸 一〇月四日 北鮮行
長崎丸 一〇月七日 長崎三角行
京畿丸 一〇月二日 新義州行
咸興丸 一〇月二四日 上海行
平安丸 一〇月二〇日 濟州島行
慶州丸 一〇月八日 江原道行
新基丸 九月二七日 濟州島行
咸鏡丸 九月一日 品濟大阪行
立神丸 一〇月一日 元山密湯津行

元山出帆（代理店內國通運支店）
南浦丸 一〇月三日 大阪行
春川丸 一〇月一日 浦潮行
新義州丸 九月二八日 北鮮行
白頭山丸 九月一六日 鎭南浦行
平壤丸 九月二五日 北鮮行
光濟丸 九月二七日 城津行
栗江丸 九月二八日 大阪行
釜山丸 一〇月四日 金剛山行
立神丸 一〇月六日 長箭行
成北丸 每日午前八時半 元山發

大阪商船株式會社

汽船出帆廣告

仁川出帆
●關門神戶大阪行（群山木浦經由）
△山東丸 九月廿六日
△朝州丸 九月廿九日
△全南丸 十月十一日
大連行 十月十四日
●東京行 九月八日
●濟州、雄基行 十月十四日
元山出帆
●群山、木浦、釜山、長崎、鹿兒島、三角、若松行
●釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 九月廿八日後五時
●新高丸 九月廿八日後二時

內地各港出帆主要航路

●大連行 每月一回 ●南米行 每月一回
●歐洲行 每月一回 ●北米行 每月二回
●孟買行 每月二回 ●南洋行 每月一回
●濟津行 ●京城行 ●東京行 船客御斷り

釜山支店 佐藤町 電長一六八四番
元山支店 泥 電長三四四番
仁川出張所 海岸町 電長三五二番
京城代理店 內國通運 電本一七九·三二〇番

大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇·二一一番
京城代理店 國際通運株式會社京城支店 電話一一七〇·二五九七番
專屬仲次 仁川本町一丁目 電話四一四番
專屬荷扱 仁川港町六丁目 電話七二番

出帆廣告

命令航路（上海行飛行船）
新義州安東縣行
九月十三日、九日、十二日、十八日、廿一日
中江鎭行 六日、十五日、廿四日
（使用船）雄飛丸、飛鳥丸、さぎ丸、ありなれ丸、かもめ丸、はと丸、こま丸
株式會社 鴨綠江輪船公司
新義州常盤町（電話四〇八番）
取扱所 新義州穂積町內特合 電話六二三
安東縣四番通小田代理店
北下 代理店

京城日報

巧妙に仕組まれた現内閣顛覆の陰謀
關係者續々警視廳に引致
事件益々擴大せん

【東京電話】内閣顛覆陰謀事件の發覺に端を發し警視廳刑事部は廿四日朝、前記新報社の部長、會部長木内外一名を留置取調べると共に徹夜八方に活動し四、五名の刑事が急行した、陰謀の内容は極めて巧妙で萬一彼等の目的が遂行された曉は責任上現内閣は辭職のやむなきに至る仕掛になつてをりこれまでの怪寫眞怪文書事件とも連絡あり背後には某院外團等もひそみ居るとの事で事件はいよいよ擴大する模樣である

佐竹次官を鐵相慰留
但し辭表撤回の如何は疑問

【東京電話】佐竹鐵道政務次官の辭表につき井上鐵相は廿四日若槻首相を訪問し首相より今直に佐竹次官を辭任せしめ難き事情を述べ佐竹氏を慰撫すべく懇請するところがあつたので鐵相もこれを諾とし廿五日佐竹次官に對し首相の意を傳へるはずであるが佐竹氏も今更辭表を撤回するのは疑問とされて居る

長命を現はした鐘の形が一等當選
京城府のマーク審査の結果
けふ當選發表

京城府が賞金をだして廣く募集したマークは期日までに千余通の應募を見たが、馬野府尹外十八名の審査委員で數回の詮衡の結果左の如く當選した

▲一等府内大和町二の五十京城師範學生山内文藏(十六)▲二等吉野町一の二〇殖産銀行員東島良平▲三等延洞九二兒島方草宮支局員松田石平、忠信洞廿七共益社日間▲萬治大和町三の五八遞信局員矢野審治

このマークは「京」を中心として更に京城を表し城の字を象徴し府の永久の紋所とする事になつて居る一等當選のマークの説明は「京」の字を圖案化したもので、上部の曲線は北漢山、下部は南山、中央の小圓は京城市街を意味し將來は南山を冠

山岳若くは流れ出する譯、現在のマークは城壁に「京」の字が附いて外部に發展するの余地なきに比してこのマークは城壁を取除いて東(清涼里往十里)西(二村洞、龍山、麻浦)等に發展の余地が多い事を意味してゐる、殊にこの形狀は日本で一番長命にして縁起よき鐘を意味する點に似てゐるので京城將來は無窮に多幸な發展を意味し、又城の「バツトルメント」および城の「プラン」を表象し京城の城の字の意味もある二等以下の徽章の説明は左の通り

▲二等「京」の字の圖案化二等の一一撥形は「京」を圖案化して京城を表現す一中央圓形を太くして現在の京城が府内に充溢しつゝあることを表す一外周尖端は四方に向つて發展進行の形を表し其の尖部の底邊に向つて膨みを有するは内容を充實しつゝ漸進的發達をなすを表現す諸輪過去及現在の京城府を發達し内部を充實せしめつゝ漸進的に將來に向つて進行する形

▲三等の二京城の「京」の字を圖案化したるものであります片假名の「ヤ」の字を四つ組合せて「城」(シロ)の意味をも兼ねた考案で京城府の紋章として簡明である上に徽章として考へて出したものゝ中では此圖案は自身の最も氣に入つた圖案です

△三等の三京城の「ケ」の字人と人とよく組合つてよく大京城は存在するそして是を縮めて「マーク」の三邊の如く平等でなければならない官武の人々よ府民よがつしりとそして一致共同せよ然らば大京城は永遠に榮え行くであらう

政友本黨いよいよつむじを曲げ出す
辭職勸告を容れないのが床次總裁癪の種

【東京電報】政界の泥合戰はいよいよ出ていよいよ醜を極め政情は益々不安となり政局の前途また容易に豫斷し能はざる狀態を示してゐるがこの間にあつて朝野兩黨および研究會が果して如何に策動するかは各方面とも非常に興味をもつて見られてゐる、即ち政友會は松島問題を提げて遮二無二内閣

覆滅の

計をたてあらゆる手段をめぐらしてゐるに對し政府側はなほ本黨の態度を樂觀し本黨は從來通り政策本意を口實として容易に洞ヶ峠を下らないものと期待してゐる。然るに本黨は突如として床次總裁が松島問題は政策問題を超越した國家の重要問題なりとして政府に宣戰の布告をしたことは政府側を驚かすと共に政界に多大の衝動を與へた、政友會が政權獲得の爲に死に物狂ひとなつたことは野黨の立場上あり勝のことであるが本黨が

野黨的

立場を暗示したものはその裏面に深い事情が存在してゐることを認められる、元來本黨は第五十一議會當時憲政會と妥協したがこれは解散回避もその一事情であるが更に妥協の報酬として近く政權の圓滿授受を期待してゐたが首相は議會後その約に出でず、遂に本黨は多少つむじを曲げだして來た、それでも本黨は松島遊廓の事件の進展により若槻首相は内閣投げ出しのやむなきものであると考へ只管その時期を待つてゐたが却々その

時期も

到來しさうにない、そこに松島問題が起つた爲床次總裁は此時なりとし若槻首相を訪問して婉曲な言葉を以て體のよい辭職勸告をなしたが首相は只に辭職の意を示さないのみならず返つて政府の强い決意を示した爲床次總裁も國内外の情勢を考察して遂に攻勢を現すに至つたものである

顛覆した特急列車

寫眞は去る廿三日山陽線安藝中野驛附近で大顛覆した列車の慘狀で下は折重つた客車

羅國々王重態

【ナウエン廿三日放送】ブカレスト特報に依ればルーマニア國王フェルヂナンド陛下は過般來病氣重篤であると

奉天軍顧問ローマへ
飛行機買入れのため

【□□二十四日發電】張宗昌の顧問イタリー人エスタルラ中佐は廿四日朝□□號で上海から到着した中佐は奉天軍の重大使命を帶び飛行機買入れのためローマに向ふものゝ如し

湖北軍の援助を見合す
奉天派會議で

【天津廿四日發電】天津における張學良を中心とする奉天派首腦會議で湖北援助の件を討議したが吳佩孚より直隷軍は武漢回復能力充分との通電があつたので當分誤解を避けるため出動を見合はすといふに意見一致した

シャム皇族
兩三日中御通過

シャム皇族ターニ親王は兩三日中に奉天發朝鮮經由内地に向はせられるが滿鐵においては大岩參事が安東まで御案内申上げることに内定した

閣僚が悉く北京を去る
全く行詰つた杜内閣
無政府狀態となつた北京

【北京廿四日發電】杜内閣は全く行詰り廿五日の閣議も開會不能となり張國淦、張志潭の閣僚も天津に赴き又財政總長顧維鈞氏も廿五日楊村に去り、杜總理も一兩日中に北京を去るはずで北京は全く無政府狀態に陷つた、一方新□□氏の組閣説高く、臨時大總統説も張作霖入關後でなければ決定をみない模樣である

希臘議會解散

【ナウエン廿三日放送】希臘大統領コンドリオチス氏は新憲法に署名し希臘國民議會は解散さる

牛津大學御入學
秩父宮殿下御近況

【ロンドン廿四日發電】秩父宮殿下は十月八日オックスフォード大學のマグダレン、カレージに御入學相成ると發表され又殿下はノールウェーのコーマンオラフ親王殿下と同じくオックスフォード大學の漕艇練習に參加されるはず

カラハン氏の後任
チ氏任命さる

【ナウエン廿三日放送】リガ特報によれば駐支勞農大使カラハン氏の後任としてラトヴイア駐劄大使チエルニッチ氏が任命されたと

張韓兩氏入京

【北京廿四日發電】張學良、韓麟春は廿四日入京したが張宗昌の來京を待つて軍事會議を開き吳佩孚援助と政局問題を討議するはず

朝鮮語試驗

朝鮮語第二種試驗は十一月十九日、廿の兩日本府全北慶南北咸南道で施行することゝなつたが志願者は十月三十一日までに願書を提出すると

わが發動機船を露國官憲が發砲す
乘組員二名が重傷を負ふ
當局から直に抗議

【樺太眞岡電報】四五日來泊居港發電では泊居町の船舶を取調べ中であるが探聞するところによれば去る九日以來沿海州に出向いてゐた泊居町折戸莊助所有の小型發動機船安洋丸がデカストリー附近で露國官憲の爲發砲され乘組員五名中一名は胸部を貫通されて生命危篤他の一名は重傷を負つたので大速力で泊居に引返し負傷者は目下泊居病院に收容加療中であるが又も漁業問題不法拘禁砲擊問題を起し相當の紛糾を見るべく當局は直に嚴重な抗議を發した

對山錄

内閣はいつやめてもよいが陰謀によつてはやめぬと若槻首相がいつてゐる。陰謀ならやめますかい。

○上杉愼吉博士は議會の解散斷行を唱へた。往年山本内閣を倒した折入が、今では多くの新聞などより進んだ意見を吐いてゐる

◇横田大審院長の松島問題に對する意見は何人をも感服せしめるといふまでもなく横田博士は黨派的の色彩などといふものについていくら疑つて見ても疑ひやうのない人だから。

◇院長いはく、立松判事の行爲は職權上多少遺憾であるが、あの事件のために打込んだ誠意は認めねばならぬ。──松島事件の被告に減刑を奏請したことは、至極適當の處置である。──何うです政本兩黨の諸君、横田博士は憲政會の廻し者でもあるのですか。

◇國際法學者として好評ある泉哲君、先頃の朝鮮土産に朝鮮の立法機關と題する論文を國民新聞に揭げ、地方諸問題を決議機關に變へて貰ひたいといふ。朝鮮統治の根本についても博士の意見を示すべきである。

◇滿洲鐵死して五十年、薩派と稱せられる人々の政界の闇を縫ふてうごめく醜態をつくづく情なく思ふ。

◇桑五郎が松茸の中毒で重態に陥つた。お客は食ひつけても松茸は選ばなくちやなりませぬ。

◇山田わか女史、婦人の行動をするかどうか分らない料理店の女中、酌婦などに對する檢黴は殘酷恐ろしいことでかつ不公平である。それではさういふところへ出入する男性をも一々ひつつかまへて檢黴をやらなければなるまいといふ。私娼の公娼化は感心されません。

◇かねてお名前を承はる鬼熊は、妻子ありながら二人の女を狩獵な獸姦して多く惡徽を殺なほ殺さんとする男である、といふ。

支那艦又射擊さる
支那兵と暫らく應戰

【上海廿三日發電】沙市の下游五マイルの地點で又復英國砲艦スカラブ號が支那兵の小銃射擊を受けた同艦は直に機關銃および三インチ砲を以てこれに應戰したが幸ひ乘組員に死傷はなかつた

長…の他役員につきては總務委員…辭表…中であるが長には日本側…合同…財界…井上準之助氏を推し同氏の快諾を得たので數日中に同氏の會長就任が發表さるべくなほ總裁には秩父宮殿下の御臨場を待つて推戴するはずである

閑院宮殿下奉天お成
張作霖氏が驛まで奉迎

【大連特電】滿洲最初の御訪問の閑院宮殿下には廿四日午前十一時大連市内兒玉グラウンドにおいて擧行された關東廳始政廿年記念祭に台臨あらせられ引續き旅大各地御視察、戰跡を御巡遊になつてゐるが、廿八日はいよいよ奉天に向はせられるはずである、殿下奉天御着の際は張作霖氏は奉天驛までお出迎へ申上げ同日省内には日支兩國旗をかゝげて御歡迎する豫定であると

西尾大尉三角飛行
廿六日南川へ

西尾大尉の朝鮮飛行練習所の三角飛行は廿六日京城發南川へ飛行し廿七日南川發海州へ廿八日海州發京城歸還の豫定である

……會……

▲總督招宴　齋藤總督は廿七日午後六時半より官邸に鮮銀總裁鈴木島吉氏を主賓として晚餐會を催す

▲水原郡酒類品評會　十月廿三日より三日間同邑内風化堂に於て行ふ京畿道よりは三方稅務課長出席の筈

▲武内林務課長　廿五日盆山方面へ

……人……

▲鈴木鮮銀總裁　視察を終へ廿六日朝七時四十五分入城

▲北小路資武子爵　廿五日朝入城備前屋

▲吉田雅一氏(鎭南浦商議會頭)同上朝鮮ホテル

▲シャルマノフ氏(ロシヤ總領事)日本旅行中二十四日夜歸城

▲クズネツオフ氏(新任奉天ロシヤ總領事)昨夜京城通過任地へ

▲李範益氏(黃海道内務部長)廿四日入城朝鮮ホテル

▲井手義之氏(釜山刑務所長)

▲中村十三氏(海軍燃料廠長)廿四日夜入城京城ホテル

▲高楠順次郎氏(東京高商教授)

▲アブラム、テイリンチ氏(東京)廿四日夜入城

▲(國領事館附武官)二十三日夜入城

▲ブレー少佐(英國支那駐屯軍副官)夫人同伴廿四日夜入城朝鮮ホテル

▲林少佐(朝鮮軍參謀長)廿五日朝歸城

▲福田軍馬補充部長　廿五日夜森岡軍司令官の招待宴に臨み廿六日朝東京へ

視察團

▲米國世界一週團ビーロー、オブ、ユニバーシテートラベル一行十一名　十一月八日釜山上陸同日入城十三日奉天へ

▲下關實業視察團一行十一名　廿五日朝入城同夜北行の筈

▲宮崎縣高鍋農學校生徒四十二名　教諭に引率せられ廿四日本社參觀

▲栃木縣縣會議員十五名　廿四日午後三時入城天眞樓に投宿同夜總督府に政務總監を訪問茶菓の饗應をうけ正午渡邊商議會頭の朝鮮ホテルに於ける午餐會に出席、午後は女子高等普通學校、昌德宮、中央試驗所、經學院等を視察し同夜午後十時五十分列車で平壤に向ふ

汽車椿事へ御内帑金
五百圓を下賜

【東京電報】山陽本線特急列車顛覆の慘事を聞召されたる兩陛下におかせられては廿四日御内帑金五百圓を下賜された。

鐵相遭難現場へ

【東京電報】特急列車遭難の報告あるや井上鐵相は早速種田局長を現場に派遣し實地調査と共に臨機の處置に當たらしめたが井上鐵相は廿五日午前九時半發特急で現場に向け實地視察の途に上つた

明治神宮體育會長
井上氏就任

【東京電報】明治神宮體育會の會長には井上氏が就任の筈。

中折帽　チダース會の盛況　九月廿八日迄開催　南大門通　丁子屋

あすの天氣(二十五日)

豫報は　曇一時晴

廿四日群山附近にあつた低氣壓は南鮮を過ぎて日本海に去つた高氣壓は支那北部から朝鮮に擴がつて居るが黃海川は不安定であるから廿六日は尚晴曇不定である

溫度
廿五日正午　二一、八(華)七一、二
二十四日最高二三、(華)七三、四

○總督府新廳舍の落成式は始政記念日の十月一日行はれる、この日府內各郵便所では新廳舍の全景をさめた記念スタンプを押すが之は繪葉書に限りその他は各所の窓口まで出せば四日まで應ずる（寫眞は記念スタンプ）

○全北井邑の天主教宣教師フランス人シネフエス、チエル（三七）は同里の李良五（五〇）が公衆の面前で『天主教はフランス人が傳教者の婦女を殺しその信者は惡フランス人の亂だ』と叫んだので名譽毀損の訴へを提出された

○熊に虐殺された吉澤一家は一讃村民の反感に所謂まらず私生子正（七）を興行師の手に託した外皆ちりぢりに分散し慘事を生んだ家は熊に狙はれて淋しく閉されてゐる【多古】

○廿四日午後四時頃東大門外新設町出の馬車馬が鍾路五丁目であばれ出し途中で他の馬車馬もこれに贊成してあばれ狂馬二頭は矢の如く走つて昇儀町の入口に至り鍾路洞二百七十番地韓宗泳（四〇）尹健瑞（二〇）の二名を踏み仆し瀕死の重傷を負はせた

○廿四日夜待ちの月を見やうと若槻首相は團琢磨、市來乙彥、大倉喜七郎その他實業家十數名、內閣各相を芝公園滿洲館に招いたが月に浮かれるところか朴烈問題等に關聯した解散話で持切りが背かつた。」

○蒲田に唾をかけて近代座を組織し『高橋お傳』或は『二人の五月信子』が今度はユニヴアーサル社にこびをうつて十一月頃アメリカに飛出し『ノゴコ、サツキ』を撮影する

○首に懸賞をかけられた張作霖がロシアから支那に乘り移り戒嚴隊をくよつて目下甘肅省に現れたとか。」

○人口二萬に足らぬドイツ、ハノーヴア市に千七百廿九名のチブス患者が發生した

○パリー郊外でも遊覽客を滿載したリオン、パリー間の特急列車が普通列車と衝突して死者六名重傷三十名を出した。」

○日本選拔軍と朝鮮實業團野球チームは廿四日午前京城運動場で組友俱樂部と戰ひ十二A對四でまた敗れた、球戰三浦、麗澤兩村

○京元線の鐵原、豊川遊覽地は名刹と紅葉の名勝地として知られてゐるので遊覽期節中廿七日から十月末まで京城、龍山、往十里、清涼里の各驛から探勝客の爲汽車賃割引を行ふ京城からの汽車賃は三等往復大人一圓七十錢小兒八十錢

○廿六日放送ニユース上田流尺八（新八千代）森田悟宮、橋本竹童、宮川雄堂ラヂオ俗話（お城と夢）朝鮮舞踊協會劇（張小紅）童話（胡蝶と蓮の花）高漢承童話（狸舞踊）鄭頃哲

○けふの公設市場小賣値段▲特等白米一升四十一錢▲一等白米同四十錢▲バイカツプル双鶴一ケ廿三錢▲森永ミルクコゝア同五十四錢▲ギオギイコア大同七十錢▲同小同五十錢▲同小同卅錢▲鑵詰鮑同四十錢▲同長かん同廿錢▲平かん同卅二錢▲いわし角かん同十七錢

新町清新樓の主人 漢江に投身自殺す

賴母子講の整理に詰つて 麻浦山中をうろついた末 懊惱して入水す

漢江の畔、京城府外龍江面土亭里の畔に廿四日の午後十時頃、老人の死體が流れついた、セルの着物に細い黑帶をきた老人の死體は、急報によつて出張した孔德里駐在所の兒玉巡査部長が出張、檢視し投身自殺と判明、ふところの名刺で府內新町十七番地新町貸座敷組合長で清新樓の主人森芳太郎（五六）氏とわかつた、組合長まで勤める身が、何ゆゑ自殺したか、遊廓の內輪を語る自殺物語りとなる。

森氏は明治四十一年に新町遊廓內の松葉樓を買收し、清新樓と改稱して商賣をはじめた、根が世話ずきであつたので賴母子講の幹事などをやつてゐる內に、新町の古顏となり、押しもきくやうになつた

その頃には、世話をする賴母子講もその數が廿以上になつた、この賴母子は遊廓の同業者が金につまると

救濟の 爲に、知人がより集まつて、每月一定の金を醵金

その上講はいくつもあるのに

掛け金 は區別されて居ず、森氏は取引のある漢城銀行の自分の當座に入れてゆくので講の金と自分の金の區別がわからぬ事になる、そして講の取締をしてゐるので金を貸てとれぬ時などには講金を落札させて、その金を回收するなどの方法もとるやうになる、金の支出は檢査の承認も得なければならぬのに、この承認を得ずにやるので講の組合員からは背任だとか橫暴だとかいはれてくる、これが最近遊廓內で八ヶ間しく論議されだし、講の整理が

叫ばれ だして來た、それにも拘らず、森氏は鼓を抱たり、妾をおいたりしてゐたので、その金は講の金を使つてるのだと盛んに攻擊されだし、このまゝでゆくと刑事問題も起る位に問題がやかましくなつて來た、そこで遊廓內の問題であるから穩便に解決しやうと大桝の主人北野氏と清月の主人安川氏とが仲裁に入り、森氏と講の組合員の間を奔走し、森氏も全財產を投げだしてその整理をする事に腹をきめ、北野、安川兩氏がこの旨を講の

組合員 に了解を求めにいつたのが本月廿二日であつた、森氏はその交渉の結果をまつべく東部地の料亭寨住の一室で一人さびしくつめたくなつた盃をなめてゐたが何々兩氏が歸つてこぬので交渉不調であらうと考へてしまひ懷中にあつた百余圓の金を寨住のおかみに預けて、何氣なく同家を出てそのまゝ家に歸らず、徒步で鍾路前まで出て、そこから電車にのつて麻浦までゆき麻浦の山中にふみ迷つた、この頃はすでに覺悟して

死を決 したものゝ如く廿二日の夜と廿三日一ぱいを麻浦の裏山をたゞあるきまわり、廿四日の未明漢江の畔に至つて遂に死についたものである

誰かに脅迫された それが原因となる

自殺の原因に付本町署の坂田刑事は保安主任の命をうけて直に調べを始めたが警察では森氏自殺の原因は講の整理に窮した果によるもので犯罪關係は絕對にないものだといつてゐるが十七日講問題で同氏を脅迫した者があり結局これが死の主要原因になつたものらしい

死の覺悟で ふらふらと家出

森氏が家出したのは廿二日の午後のことでその日も森氏は自宅と背合せになつてゐる同業寨住にて清月樓の主人等と最後の相談中『直歸つて來るから』といつてふだん着の着流しのまゝ帽子もかぶらずに外出したきり行方不明となつたもので寨住では森氏が家出して二日目即ち同氏の自殺を知つた廿四日朝の新聞と同時に森氏擧帳の金時計眼鏡等が蒲團の下に置かれてあつたことを發見したこれよりみるに廿二日家出する際すでに死を覺悟してゐたものらしい

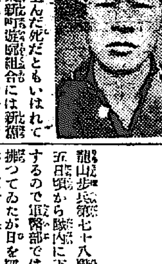
女將は腦震蕩 氣の毒な清新樓の一家

清新樓をたづねると玄關の廊下にテーブルを据へて、見舞客の名簿をつくつて居るみやこの主人が『おかみさんは昨晚腦震蕩を起こして寝てますまあ私がかわりにお話しませう』と語る『森さんは香川縣の人ですよ、日露戰爭の時釜山にきて、日露戰役では仁川で兵站部の賄全部を引受けて功勞のあつたものでさあ、卅九年に桃山遊廓が出來るので桃山に住み新町にきたのは明治四十一年でせう、遊廓のためにも盡くした人ですが、飛んだ事をしましたな、講の事ですか、死屍にむちうつやうな事はして下さるな、おかみさんのおせいさんは長い間田中丸病院にゐて、廿日の日に退院したばかり、それにこれですから、この家は大變ですよ第一高女を出た娘のせと子さん一人きりで、この家も氣の毒ですよ、葬儀は廿七日午後三時に龍山本願寺でやります』と

私消したのは壹萬圓位か 全財產を投げ出して 整理する腹だつた森氏

森氏が關係をしてゐる講は現在十八あり、全部講金になつてゐるが、掛金の總額が多く、そのあとがけの金も每月多額なものに達してゐる、講の金は森氏の私財と一しよになつてゐるので、幾らくらゐを同氏が費消したものか判明せぬが約一萬余圓位とみられて居る、掛金の滯納が多いのは

遊廓が 不景氣なからで



自殺した清新樓主人

不景氣の生んだ死だともいはれてゐる、元來新町遊廓組合には新舊の二派が對立してゐて、森氏は舊派に屬してると見られてゐるが、本年六月水藻平氏の組合長をやめたあとに、森氏は組合長になつたが新舊兩派の軋轢があるので、組合長はこの軋轢の中心になる觀があり、それに講の金の支途不明になつたのや、滯納が多い事が出たので、問題はよけいに紛糾し、遂に森氏は身がつまつて

死を決 したものである

早慶陸上競技 反則で紛糾

審判の命に服せず 慶大選手連袂退場

【東京電話】第四回早慶對抗陸上競技大會は廿四日午後一時明治神宮外苑競技場で擧行フキルドは走り高飛びに早大織田一米八六の新記錄を出して好成績を示したがトラクは千五百米で早大織田と慶大高見との間に猛烈なる競爭の後三周より織田リードしかつ早大川崎高見に迫つたが最終回の第一コーナーで高見川崎間にインターフエア問題起り東口審判長は慶應に宣告したが慶大選手は宣告を肯かず結局獨走となり八百米リレーでも慶應は早大に反則ありと主張し審判は慶大側にも反則あるを發見して再レースを命じたが慶應服せず連袂退場し遂に卅七對十九で早大大勝し二對二となつたがこの問題のため或はかつての早慶野球戰の二の舞を踏んで兩校對抗陸上競技は中止さるゝやも知れない

なほ兩軍の種目別得點は左の通り

種目	慶大	早大
百米	6•5	5•5
圓盤投	2•0	4•0
ローハードル	6•0	0•
走高跳	3•	3•
四百米	4•	2•
走巾跳	2•	4•
棒高跳	1•5	4•5
千五百米	—	5•
槍投	—	6•
八百米リレー	0•	3•

大毎再勝す 對布野球戰

【大阪電報】布哇對大毎の第二回野球戰は廿四日甲子園にて行はれた、布哇は第三回に一點四回目に一點を都合二點を先取したが大毎は六回目、桐原遊ゴロ一壘に生き、高須の投前に進壘、樫浮西球に續き兩者二三壘に進み谷澤四球に滿壘渡邊果然三壘を負ふてたち、第一球を強打すれば三壘線上に沿ふ見事なる本壘打となり一擧四點を擧げ遂に四A二で大毎再勝した、バツテリー布哇ダイタ、古月、大毎湯淺、井川

熱狂する觀衆 本社の女子庭球大會

番狂はせ續出に 興味愈よ白熱化す

接戰に終始した第一日の 本社女子庭球大會

夕刊つゞき―わが社主催第二回全鮮女子庭球選手權大會は午後に至つて二階の接戰を重ね回を追ふに從つてリアインされたネツトプレイとチームワームを見せ同時に應援團の熱狂極度に昂り、彼失すれば、これ歡呼し、これ拔かれば彼喝り、五彩の花びら折から空く晴れ渡つた青天にきらめく如く選手と應援團の意氣はぴつたりと合ひ美しき壯觀はこゝ訓練院に漲り渡していつたのであるその後の戰績は左の通りであるが優勝を期待されてゐた培花の蔡、白組、平壤高女の山口瀨戶山組を始めてかつて仁川高女の黃金時代を現出せしめた島崎加來組、宮本甃甲組、梨花の李、孫組および昨年女學生大會に優勝した吉田上原組等が何れも奮戰しながら惜しい負かたをしたのは滿場の同情をひくに充分であつた、

第一回戰

Aコート

元山高女（原田・池原）四—二（小田部・大野）藥學校

第二回戰

Aコート

平壤女高（金山・金洙）二—四（長谷川・日浦）平壤高女
貞信（孫倫子・金□）三—四（金淑洙・安福許）平壤女高
培花（蔡善姬・白善伊）四—三（倉本・石塚）大田
平壤高女（小原・小畑）一—四（中島・松田）元山高女
平壤女高（□）四—一（坂木・有村）大田
大田（米村・奥村）一—四（渡邊・戶井）第二
第一（黑岩・小田）三—四（李寶貝・孫理亞）梨花
仁川（加藤・來崎）二—四（足立・高□）平壤高女

Bコート

平壤女高（金特實・宋利玉）四—〇（閔成德・趙今順）京城女高
平壤女高（金淑洙・安福許）四—〇（石再福・徐順吉）京城女高
光州女高（吳壽南・村川）二—四（卯野木・大塚）平壤高女
平壤女高（足立・高□）四—二（蔡善姬・白順伊）培花
第二（渡邊・戶井）四—〇（洪聞玉・金恩淑）梨花
大田高女（上原・古田）四—三（吉村・高山）第一
培花（文玉善・高十蘭）四—三（山口・島戶山）平壤高女
第一（山村・辻）一—四（楨山・島谷）藥學校
平壤高女（長谷川・日浦）四—二（北園・山谷）元山高女
大田高女（須々木・水野）一—四（兒山・松永）第二高女
元山（中島・松田）三—四（金斗任・金巳順）進明
培花（金蔡・崔）二—四（朴敬淑・李淑愛）梨花
仁川（愛甲・宮本）一—四（馬場・福永）平壤
第二（門脇・木村）二—四（金貞順・玉寶信）平壤女高
梨花（李寶貝・孫理亞）三—四（原田・池田）元山高女
進明（朴福男・張玉桂）二—四（蔡以順・嚴運福）平壤女高

第三回戰

Aコート

平壤女高普（金玉信・金貞順）四—一（上原・古田）大田
元山（池原・原田）四—二（金斗任・金巳順）進明
平壤女高普（金特實・宋利玉）二—四（福馬・永場）平壤高女

Bコート

平壤高女（長谷川・日浦）四—一（朴敬淑・李淑愛）梨花
藥學（楨山・島谷）四—一（兒山・松永）第二
培花（文玉善・高十蘭）四—一（金淑洙・安福許）平壤女高

日沒の爲め 試合中止 けふ二時開始

かくて第三回戰に一試合づゝ殘した頃から太陽は傾き紐の觀を彼方に沒し遂に競技困難となつたゝめ戰勝組の各代表者と協議の上やむなく廿四日はこのまゝ中止し二十五日午後二時から京城運動場で再開する事となつた

龍山の七八聯隊から 赤痢患者が續發

收容された者既に五十二名 兵士の外出を禁ず

龍山步兵第七十八聯隊では本月十五日頃から隊內に下痢患者が續出するので軍醫部では細心の注意を拂つてゐたが日を經るに從つて患者は增加し加ふるに赤痢の疑ひがあるので大騷ぎとなり發生した患者は悉く衞戍病院に收容した所廿三日までにその數五十二名の多數に達し同聯隊は不安の極に達してゐる、入院患者中赤痢と確定した者は僅に四名であるがその他の患者中にも疑似症が多數あるので之等の患者は全部赤痢系統のものだらうといはれてゐるが赤痢の發生と共に聯隊では全兵士の外出を禁じ豫防と防遏に全力を擧げ患者の早期發見、便所の消毒、酒保の制限、患者發生班の大消毒等に努めてゐる、發病源については目下師團軍醫部で目下詳細取調べ中であるが多分御用商人から納入した野菜にあらうしく若しそれとすれば今後も引續き患者を發生するかも知れず且兵營內で集團生活をしてゐる事とて防疫は非常に困難を感ぜられ益々蔓延するかも知れぬ

齋藤總督

仁川總督別莊へ靜養中の齋藤總督夫妻は廿七日朝歸城の豫定

天成氏來城す、 廿六日懇談會

臨池界の老將比田井天成氏は廿五日入城黃金町一丁目九六李容汶氏別宅に暫く滯留して一般の依囑に應ずる由揮毫の參觀は隨意であるとなほ廿六日午後より內鮮人より成る書道研究會の諸士李容汶氏宅に集合し斯道の懇談を試みる筈

明日（廿六日）

▲ボートレース 漢江
▲秋季運動會 午前九時於義洞普通學校
▲競馬四日目 漢江ノ畔
▲原田助氏講演 午前十時京城組合教會
▲日曜說教 永樂町救世軍午前十時と午後八時
▲碧巖氏歡迎茶話會 午後八時太平通基督教青年會

天下ノ絕景金剛山
金剛饅頭
松ノ實入

專門 義手足
高野義肢製作所
京城本町一丁目
▲義手足元祖如何ナル不具者モ又セキズイ病モ最新術應用ニテ治ス
○患者用松葉杖一組金壹圓五拾錢ヨリ六圓五拾錢マデ各種御用命ノ節ハ腋下ヨリ床面迄ノ寸法御通知ヲ乞フ

ビクトリヤ 月經帶
イーおしめ
全國藥店小間物店雜貨店ニアリ
發賣元 東京 大和町 山口商店

りん病
淋病は慢性急性に拘らず七日間以內に生命に賭けて根治させる家傳の秘法を救ふ ハガキで申込め
神戶市相生通二丁目ナカノイ食器店

專賣特許
イマヅ殺虫劑
イマヅ蠅取粉
大根のさるは虫 其他菊、植木、農作物の害虫を完全に驅除す
蠅、蚊、蚤、南京虫 其他虫類一切 わけなく全滅す
今年度新發明 來年迄持越しても効力變りなし

大芳太郎儀病氣ノ處二十四日午前十時死去致候間此段御通知申上候
追而葬儀ハ來ル二十六日午後二時自宅出棺行列ニテ山寺ニ於テ執行致候
大正十五年九月二十四日
妻 森セイ
弟 森繁太郎
親戚總代 松永桑次 福岡德男
友人總代 永峰住造 北野善造 眞玉力太郎 安川伊吉

當組合取締森芳太郎氏死去に付此段謹告仕候
大正十五年九月
新町貸座敷組合

父淺川辰三儀永々病氣の處九月廿四日午前九時五十五分死去致候に付此段御通知申上候
追而葬儀は二十六日午後四時山手町日本メソヂスト仁川教會に於て執行仕候
仁川本町 朝鮮繩叺株式會社仁川出張所內
長男 淺川淳
友人總代 坂本由藏

ワタ 綿
內地人用 蒲團綿 中入綿 青梅小袖綿
鮮人用
玉票 鮮票
製造元 朝鮮製綿株式會社

京城本町
シノサキ
測量器械店

金牌受領
本椿香油
本舖 大阪西區靱中通一 三宅堂

謹告
大正十五年九月二十五日
安東縣南四條通三丁目二番地
製材 木函 製原
合資會社 宮下洋行
電話長三三番

本剤は胃腸の強健と精神の快適に卓効あり、絶へず御常用あれ

金言
猶豫を退けよ猶豫は常に準備の整へるものを害ふ(ルーカン)

四博士完成　科學的優秀
高貴料配合　齒界の權威

仁丹のハミガキ

博士の奬める此のよい齒磨を朝晩必ず御愛用下さい。

丸鑵入は別製優良品にして清凉味強く口中殊に氣持よし。

丸鑵入の生命は下記の高貴料配合して別製せるにあり

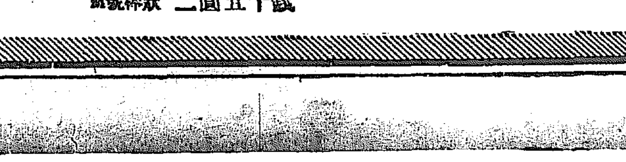
●ホルモール及ステノール(殺菌料虫喰防止)
●カーボネートオブライム(制酸料虫喰防止)
●カーボネートオブマグネシウム(琺瑯質保護)
●チンクチュアオブミルラ(齒齦強壯料)
●サルフェートオブキニーン(口粘除去料)
●メンソール及ボーネオカルホア(清凉料)
●ヘルビエッセンス及賦香料五種(調味料)
●ボリックアシッド(防腐料)
●メジシナルソープ(漂白料)
●ホワイトローズ外十三種(芳香料)

絶對に舶來品を凌駕する國産優良品

仁丹の体温計

商工省の検定合格率
仁丹の体温計は九割八八
舶來の体温計は八割八六

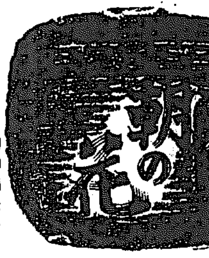
○四博士指導二十醫學博士實驗推奬
○發明權五種應用し東洋一の大生產



M號平型　二圓卅錢
M號棒狀　二圓五十錢

内科 眼科 小兒科
京城黄金町三丁目永樂町通り
本田病院
院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院
入院随意　普通病室 特別病室
病院用電話本局二一四三番
自宅用電話本局二二〇九番
振替京城二三二〇八番

秋冷の候
山へ！ 狩りに疲れての一杯
家に！ 食卓を圍み團欒の一杯
高級銘酒



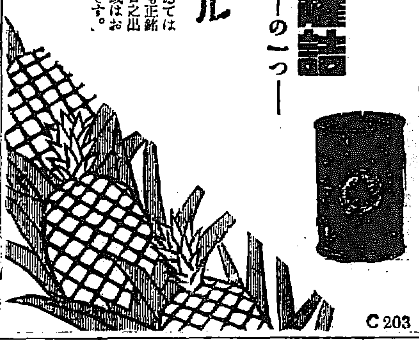
朝鮮酒造株式會社
げに香心地の良い

日之出印罐詰
―の一つ―

日之出パインアップル

鳳梨は果實の王ですが、内地にゐてはナマでは迚も得られず、罐詰でも正銘にその美味を保存してゐるのは日之出印だけです。食後に、客席に、或はおやつとして子達にあげても安心です。

株式會社 祭原商店



C203

營養ビール
サクラビール

●アナタ
頭のある方に氣が付きはしませぬか●自分の頭に氣のついた時は既に頭がわるいので●頭が痛む程でなくとも●重いか●クシャツクか●ボンヤリして何となく不快を覺ゆる時です●そんな時に
ノーシン
をタッター一ぷくのんでごらん●忽ち頭ははつきりし面白い程爽快となる●

▲李王職御用
模範 全乳
▲鐵道御用病院
太正[illegible]主場
東亞牧場
(電話五二二番)

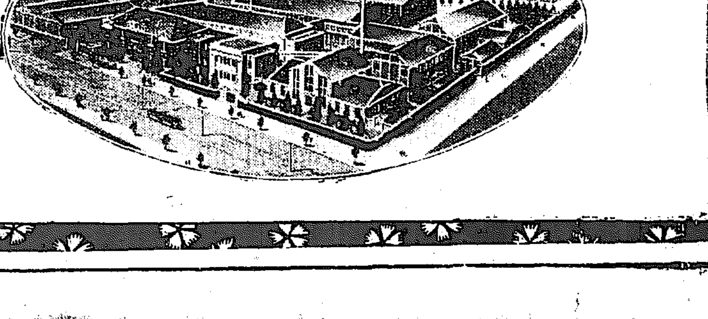
豐年ぢや
萬作ぢや
その上揃ふて健かなれど
品質本位
花王石鹸
の御常用をお忘れなく

貴嬢をホントに美しくする白粉……學理を最も正しく應用したる

純 無 鉛
美顔白粉

桃谷順學博士創製

▼内務省衛生試驗所…無鉛證明▲



美顔化粧料發賣元
桃谷順天館 と 化粧品研究所

二十週年紀念號

廿年を回顧して【平壤の巻】

大同江沿岸に資本一億圓 平壤の今昔

内田錄雄氏談

私は明治三十七年十月、軍用鐵道監部山根少將（今の中將男爵）と石川技師長と共に、大同江架橋地點の測量の爲初めて平壤に來ました、當時は戰爭時代のことゝて恰も戰地にでも臨む樣な感じでした、來て見ると内地人の旅館としては僅に二根旅館一軒だけ

大同江 の岸にあり、朝鮮式の家屋ではあつたが小奇麗で旅の勞れを慰められた入口の門には日の丸の旗が樹てられ勢ひよくひらめいてゐた、當時國旗を見ると、非常に力強い感じがしました それだけ愛國精神が濃厚でありました

大同門通りにある領事館に敬意を表す、新庄領事と通譯官が狹苦しい温ドルに立て籠つてゐて出入るべき余地もないので戸外から敬意を表した。勿論その頃は領事館附近が平壤の商業中心であつた、けれども内地人の家屋といつたら三四軒より外に見あたらない今の上水里の普通學校の處は第十五師團司令部であり現在の憲兵隊の横に

朱雀門 と稱する南門があつて、これが外城に通ずる城壁でこれを内城と稱して、今の大和通りが中城と稱し慈惠病院の前に含毬門と稱する門があつた、數年間手を入れなかつたため破れてゐたから、内地人はこれを破れ門と稱してをつた。今の新市街と稱する全部は、粟や高粱の畑で道らしきものも別になく、今の道廳附近は沼池で、鯰、鮒を釣りに出掛けたものであつた。畑中に日本病院敷地、又は日本寺院敷地地帶といふやうな標杭が大分建てられ敷地を包容して建てられてあつた、これが今の淨土宗や片倉組の建設した土地である。その當時は内地人二百人位のものによつて、日本人會といふものが設けられてあつた、間もなく居留民團法がしかれた、これは廿一個會で

可決し た居留民團法であつて、卅八年三月法律第四十一號を以て發布せられ、法人たる資格を備へた自治體として經營活動しうる端をひらいたものであつた當時各地における居留地はどんな種類のものかと申すと

京城 雜居地
仁川 日本專管居留地、支那專管居留地、各國居留地
群山 各國居留地
木浦 各國居留地
馬山 日本專管居留地、各國居留地
釜山 日本專管居留地
元山 同上
城津 各國居留地
平壤 雜居地
鎭南浦 各國居留地

各地とも一齊に居留民團法を施行せられ、小規模ながら一個の自治で下級行政を施行し、教育衞生土木市街計畫をなし、平壤現在の大部分は民團當時に

建設し たるものである

大正二年民團法撤廢改選の際派閥關係を生じ、私も三ケ年間民會議員を勤めて居たがその當時とて議論は存外盛んなもので甲論乙駁當時も今と余り大差はない。その當時民團の（三十九年度歳出）財政は、三萬四千九百六十五圓で內地人のみの自治はこれで處理せられ勿論戸數が千四百四十三戸で人口が四千五百四十人といふ寥寥たる發展を見るに至つた、大正元年には戸數が二千三百七十三戸で、人口が七千九百十一人に增加し大正三年三月府政實施により民團撤廢せられて、府制が布かれ當時の戸數が內地人のみ、六千五百五十七戸人口が二萬三千五百二十七人といふ膨脹をなしたことは實に

隔世の 感があると同時に我平壤は他地方と異り全く日露戰役よりきづきたる都市にして現在の市街は粟や高粱の畑かかくまでに美化し、今では朝鮮第二の都市として、大同江沿岸に諸會社が投じたる資本は一億圓となつた、多數の研究を見ることは勿論官民の力と物質の力とが相まつて、今日の如く大をなさしめたるも、又天惠の地利によりて人の力も物質の力も、誘發したることは當然のことゝ思ふ。二十年前の昔を思ひ今を見て、うたゝ感慨無量に堪へない、何はともあれ臆い意味において感謝せんければならないと思ひます。ついでながら一言申上げて置きますが、平壤は外觀より議論の府として常に冷眼を受けてゐるがそんな單なる見方ではこまる

市民の 市であるから、市民が擧げて公共に對し熱心なる發露の然らしむるのであつて、一度これが氷解すれば大風一過、更に新しき問題に移り行くのみであつて、外部より見てこれに風聲を加ふることは、全く平壤市民の意氣と內容狀態をうかがひ知らざるものの批評であつて、米田知事時代は議論より仕事といつた風にいつも仕事に先んぜられたる爲か別に議論もなかつた、仕事をすれば議論はまぬかれない、しかしそれは議論ではなく多數者の眞面目な研究と思はなければならない（寫眞は内田錄雄氏）

朝鮮の盆……⊖

原州 宮崎 楚川

盂蘭盆 燭便 ひ放しや露の秋
やがて消ゆる西瓜提灯ゝ合へる
朝鮮の盆となりたる九月かな
靈飾りて朝鮮人の展墓かな
時計かけて早稻や蚊帳の秋
糸瓜忌や朝鮮柿の背きまゝ
京城の誰彼知りし子規忌かな
糸瓜忌や此地に多き義郎の句

半島二十年のあゆみ【19】

我道の産業【四】

黄海道知事 今村武志

將來本道は、その特長と地の利とを利用し、これ等の地を盛ならしむるにおいては一層漁獲の增進と相まつて著しく漁獲物の價値を高め、輸出貿易の進展を期するを得べく本道水産製造業の前途を一新するをうべし、又養殖業にありては適地適種に努めるのみならず養殖漁種中に出は蛤、竹蟶、牡蠣その他支那輸出向好適品多く販路廣く生産增加に伴ひ一層收益增加を期するをうべしと雖未だこれが隆興を見ず以上の如く本道水産業はその將來多の好要素を具備せるに關せず未だ十分發展するに至らず將來大いに在來漁業の改善發達沖合漁業の進展と淺海干潟地の利用養殖に努むると共に之等生産物の處理加工の法を改善し特に輸出向製品の增加改善をはかり福利的開發に努むるは最緊要なる事項なりと認む

商業

本道は地の利を得ざる故概して商業都市として充分ならざるも近時交通機關の發達に金融機關の整備充實內地人移住の增加その他鮮人の生活向上等により商取引も漸次旺盛となれり然れども商取引の大部分は今なほ市場取引の域を脱せずしかして本道の市場總數二百十七ケ所にして、滿州を除くの外金郁月六回の開市にして就中沙里院最も殷盛を極め新幕、信川、載寧、黃州、里等又著名なるものとすしかして各市場の取引は農作物の豐凶物價の高低地理的關係その他各種の事情により多少の盛衰消長を免れずといへども逐年農産物の改良增殖および市價の昂騰に伴ふ農家經濟の向上により漸次取引高を增加しつゝあり取引貨物は穀類農産物織物類水産物等の外雜貨にしてその概況を示せば（別表の通）

年別	市場數	開市回數	賣買高 農産物	水産物	織物	畜類	其の他	計
大正元年	九六	六,七一五	一,六六四,六二六	四八三,八二一	一,八0三,二四四	四,一八一,九八八	九六三,0三三	九,四0四,七一三
大正五年	一0七	七,三七八	九八三,五八八	二一七,五六七	四四八,九七六	一,四四七,四六二	六四三,二二六	三,九二三,九一四
大正十年	一一三	七,六九三	二,六九七,五五五	五六九,五七三	一,四一0,四一八	四,七七八,八五八	一,四五八,五二一	一0,八五五,九九四
大正十四年	一一七	八,一五六	三,五00,三四九	五九八,九四八	一,二三二,八一三	四,六六六,四八六	一,八七一,九六二	一0,八00,五六八

工業

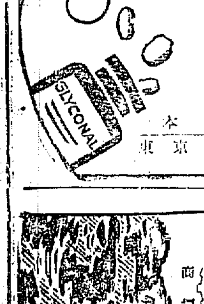
本道の工業は概ね萎靡振はず僅に農家の副業的工業にその片影を留むるに過ぎずしかもその設備は幼稚にして使用器具また不完全なるを以てその製品も商品的價値を有するもの甚だ少し製法上の狀態に鑑み本道においては始め從來家內工業及工場工業の助長獎勵と共に專ら製造方法の改善普及とをはかると共に普及製品の販路擴張に努めたる結果時勢の進運と相まつて技術の進歩製品の改良産額の增加を促すに至れり、聊かその發達の狀況を見るに工産額は大正二年には百五十三萬圓に過ぎざりしが大正十四年には二千三百七十一萬圓に激增せりその狀勢は工産額表の如し、しかしてこれ等の工産は漸次發達し工場式に改善するもの漸次增加しつゝあるを以て今後指導如何によりては充分なる發展を期し得らるべし

三菱製鐵株式會社兼二浦製鐵所は大正七年の創立にかゝり資本金二千五百萬圓にして熔鑛爐二基を有し原動力三萬二千馬力職員三百余職工內鮮支那人總計千余名を算すしかして製品は銑鐵鋼鐵及副産物コークス硫安ナフサリン、コールタール煉瓦等にして年産額一千百四十一萬圓に達す（完）

大正十四年工産額表

種別	官公署（圓）	內地人（圓）	朝鮮人（圓）	支那人（圓）	計（圓）
醸製品	100	五,000	四四,九四四	……	九九,0四四
織物	四五,七00	……	七七五,一四四	……	八二0,八四四
絹組物	100	一,二四七	四八,八八0	……	五0,二二七
紙及紙製品	……	二,0五一	四0,四四一	……	四二,四九二
窯業製品	……	五三,三五0	二二六,三三八	……	二七九,六八八
金屬製品	……	七,七四八	三六三,一六六	四四,二五0	四一五,一六四
機械類	……	……	一七,五四八	……	一七,五四八
石器類	四一三	……	六七0	……	四,八二三
木製品	一,九五0	三三,六四五	三三三,0五七	一五0,000	三二一,六五二
竹製品	……	……	一一三	……	一一三
杞柳其他の製品	九四0	一三,二五0	三五,八二八	……	四九,二三八
莚蓆其の他	……	……	二六五,七四四	……	二六五,七四四
藥製品	……	一四,六五八	一,三三六,五五七	……	一,三三二,二二五
筆	……	……	一一,三三九	……	一一,三三九
皿	……	……	九,三00	……	九,三00
冠物	……	……	二六,八四七	……	二六,八四七
朝鮮麻絲	……	……	一四四,0八一	……	一四四,0八一
布帛製品	四,三五0	八四,四00	一,三一四,0四0	……	一,四0二,七九0
農具(除金屬製)	……	三0,六二五	九七,八00	……	一二八,四二五
窯器具	……	……	六五,二五0	……	六五,二五0
牛馬具(除皮革製)	……	……	三三,一0九	……	三三,一0九
漁具	……	八五0	八,一九六	……	八,三八一
網地	……	……	二,四五0	……	二,四五0
車輛	……	九,九九九	四三,五五七	……	五三,五五六
船舶	……	……	九四0	……	九四0
酒類	……	二四三,七五四	二,四九九,六0八	……	二,七四三,三六二
醋	……	……	一八,四四一	……	一八,四四一
內地醬油	……	三,000	……	……	三,000
同味噌	……	10	……	……	10
麹子	……	九七0	一五三	……	一,一二三
穀粉	……	三四,一七九	八三二,七九九	……	八六四,八九八
澱粉	……	一,七三0	一,0五九,六九0	……	一,0六一,四一0
干麵類	……	……	三三0	……	三三0
飴子	……	六,二0一	一一八,九三0	一四,000	一三九,一三一
菓子	……	……	三三七,七八七	……	三三七,七八七
蜂蜜	……	四四,六六六	八三,八三四	三五0	一二九,八六九
乾海苔	……	三四0	一九,八九六	……	二九,八八六
製革	……	……	六,四五0	……	六,四五0
皮革製品	……	……	一七,一八五	……	一七,一八五
動物性脂油	……	……	一六九,0四三	……	一六九,0四三
蠟燭	……	二九,九五三	七二,一六五	……	一0二,一一八
藥劑	……	……	七一	……	七一
塗料	……	九七,五五七	……	……	九七,五五七
コークス	……	五三六,四八九	三六	……	五三六,四八九
肥料	……	二三0,八一九	八五五,八二一	……	一,0八六,六四0
煉瓦	……	九八,八00	……	……	九八,八00
石粉	……	……	一七,五00	……	一七,五00
銑鐵	……	五一,一八六,三三六	……	……	五一,一八六,三三六
特殊鐵	……	二0,一五三	……	……	二0,一五三
骸炭	……	四五,九四二	……	……	四五,九四二
ピッチ	……	四0,一九七	……	……	四0,一九七
タール油	……	五五,八二一	……	……	五五,八二一
ナフサリン	……	一0,八三九	……	……	一0,八三九
コールタール	……	一0八,六七五	……	……	一0八,六七五
無水コールタール	……	六一,一五五	……	……	六一,一五五
計	……	五七,一四四	一三,四六九,五五五	二,四四,七00	一四,七00

滋養強壯劑
グリコナール
國立榮養研究所長 醫學博士 佐伯矩先生創製
グリコナール錠は一般虛弱者、心臟機能衰弱者、結核病者、重病者等に對する濃厚滋養料として稱揚せらる
說明書御申越次第進呈 錠劑100錠入、各地藥店にあり
本社 東京 麹町 三共株式會社 出張所 大阪・京城・台北・紐育



ミーデホ
皮膚病最良藥
主効 たむし ぜにたむし みづむし いんきん たむし あせも とびひ 頭瘡 痒
定價 三十錢 五十錢 一圓 二圓
本舖 東京 王寶合名會社

神經衰弱不眠症革新劑
レーベン
推奬 醫學博士 ロビンソン博士 岡田醫學博士
主効 神經衰弱 ヒステリ 腦病頭痛 頭重逆上 便秘耳鳴 不眠肚… 記憶減退 憂鬱煩悶 心身倦怠 性能衰退 以上各症 絕好良劑 奇効可驚
レーベンは腦の營養と神經の强壯を計る獨特の新藥なり
大阪市 東京市 中前定太郎藥房

男女 やせる藥
からだに害なく太り過ぎる人を丸く…
東京小石川表町 …

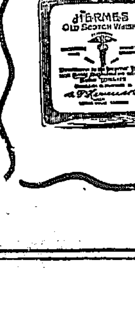
於博覽會共進會賞牌受領
低廉堅牢 ヤナギ椅子
行李バス共自産杞柳使用
朝鮮大邱府 東洋杞柳株式會社

資本金 壹億五千萬圓
本店 東京市麹町區永樂町
頭取 安田善次郎
副頭取 結城豐太郎
株式會社 安田銀行京城支店
支店長 三原梓
電話本局五八番・一九五番
振替口座京城一二三番
爲替取引先は內地各方面に朝鮮滿洲等要の地に有之候銀行一般の業務は最も便利に御取扱可申上候

內科小兒科 外科花柳病
仁川宮町 松本醫院
×光線科電氣科 電話二四五番

盜難保險附
宮田の自轉車
商標 登錄
本邦自轉車工業の元祖にして其の功勞に依り名譽の綠綬章を拜受したものは宮田の外にありません 自轉車は堅牢で輕い宮田製が一番徳用です
盜まれても保險會社から前同樣の代車が貰へます
種目 アサヒ號 パーソン號 サンライズ號
大邱 ナヤダ自轉車店
光州 水井自轉車店
京城 岡田自轉車店

ヘルメスウヰスキー
古き歷史を有する世界の名酒！
攜帶用ポケット入れもあります



H 201

齒を強く
美しく麗しく
齒や齒痛を未發に防ぐ
朝と食後のクラブ齒磨とクラブハブラシ

有田ドラッグ本店新築落成

在郷軍人團 青年團 學生、生徒 諸氏に告ぐ

有田ドラッグ商會主　有田音松

豫て建築中の七階建（地下室共八階）は下圖の如く落成致しましたので、去る八月廿日に移轉しました、就ては今秋より諸氏に、御宿泊を願ふ考でありました、處が、余の記念事業として

社會奉仕薬（實費提供）其他國産奨勵の意味によつて製薬した新良劑を、發賣しましたので、之が、民衆に行届く様に

全國の各町村に、取次店を設置する事に致しました

取次店申込者は多數にあり、今秋より、專賣所主任と、取次店主とを、本店に集合せしめ、國民保健の爲に各種事項の打合をなし、以て、大活動を始める事に致しましたので

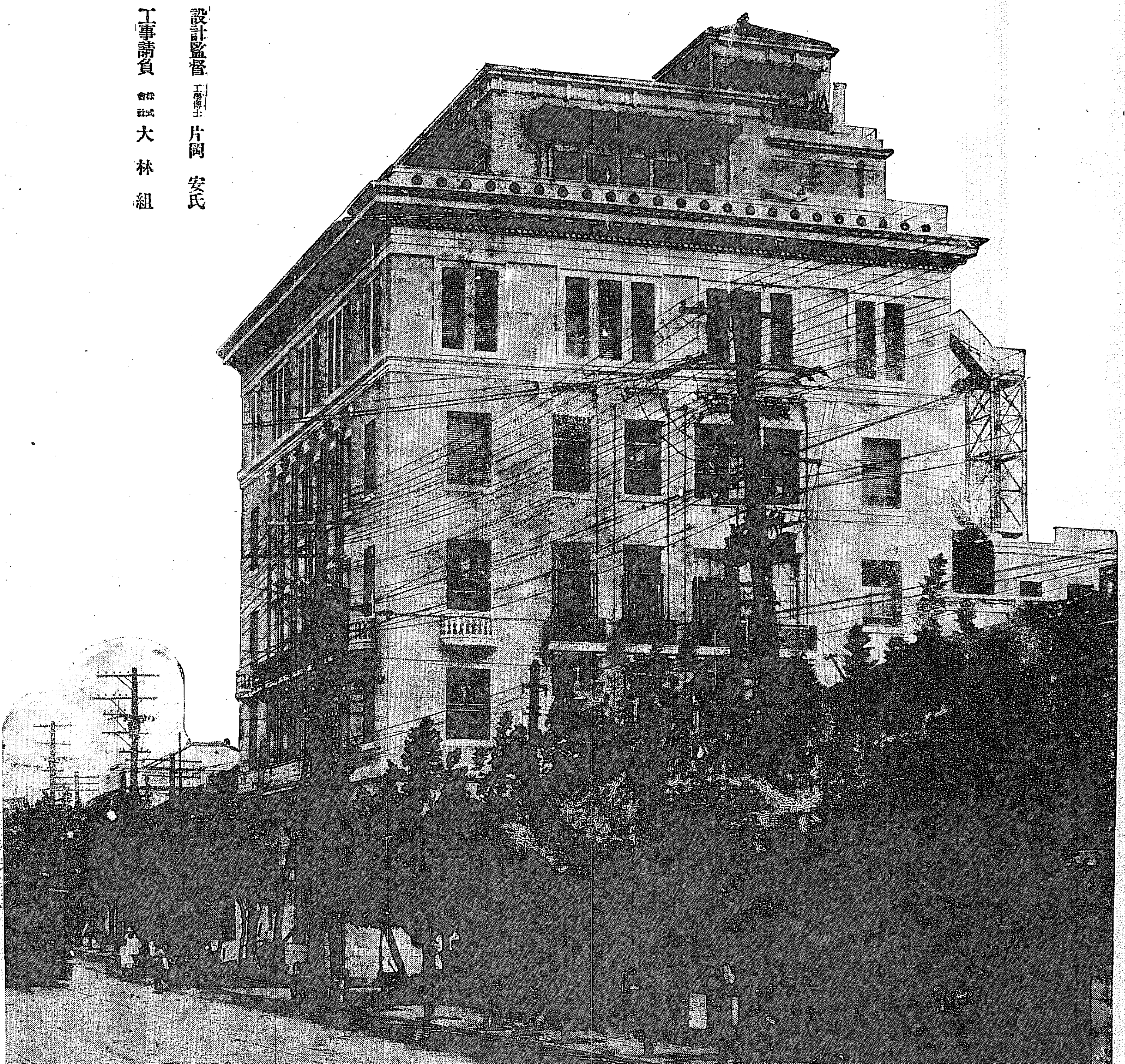
今秋中は、遺憾ながら、諸氏の來館を乞ふことが出來ませんが、來春早々よりは、御宿泊を乞ふ事に致しますから

茲に、紙上を以て

御挨拶申上げる次第であります

設計監督　工學博士　片岡安氏

工事請負　株式會社　大林組



鮮人に對し同情のお言葉
慶州の高松宮様

【大邱】高松宮殿下が慶州へ成らせられた時のこと恰も陰曆の十五日で鮮人は古來からの慣習である綱引を催すはずであつたが混雜をおもんぱかつて官憲側では中止することに取りきめたこれを聞かれた殿下には「それは惜いことをいたした、折角の催しを中止せぬでもよかつたらう」と同情あるお言葉であつたといふ、なほ浦項から慶州へ向ふお召自動車で須藤慶北知事がかたくなり隅つこの方に御陪乗申上げて居ると殿下は『そんなに遠慮せぬでもよいこゝに座せよ』と御同席をおすゝめになつたさうである

全南共進會に三往復以上の臨時列車
地方觀覽者の收容に頭をなやます當局

【木浦】全南共進會および物産共進會各館の工事は昨今大いに進捗して來月上旬までには全部竣工するはずである、一方觀覽者の方は道内各郡からでもおびたゞしい數に達する模樣で當局はこれから收容方法に苦心して居る、鐵道側でも十月一日から改正される一日五往復の外に、會期中松汀里以南に一日三往復以上の臨時列車を運轉する事となつた

は組合としても商船を出して觀覽者を入れる必要もなからう、池邊理事が態々濟州まで出張したのもこの間の消息を物語つて居る」と暗に自分は今回職につくより大いに働かねばならぬ時期だとほのめかした

平壤の祝典二つ

運動場開き

平壤公設グラウンド開場式は二十四日午前十時下水子區林中において擧行せられ式後小學校生徒の運動會があつたが二十五日二十六日も引續き野球庭球その他の競技が行はれるはずである

平元線起工

平壤における平元線鐵道起工祝賀會は二十五日午後三時から公會堂において開催松井府尹の挨拶あり來賓を代表して青木知事の祝辭あり同夜更に七星館において有志の祝賀會が開かれた

平壤中學十周年祝賀
三氏に記念品

【平壤】平壤公立中學校では廿三日同校創立十周年記念祝賀會を擧行し校長の同校創立以來の沿革を述べたる式辭、青木知事の告辭あり、同校創立當時の校長にて現京城師範學校長の赤木萬次郎氏の祝辭あり、卒業生一同から十年勤續の鳥飼校長、堀本教諭並に校醫木村博士の三氏に對し謝恩記念品の贈呈あり終に卒業生の分列式運動競技があつた

組合長就任を打消す
矢野支店長

【木浦】東拓木浦支店長矢野康氏は度々安興水利組合長に就任説を傳へられるが當の本人はことごとく否定して水利組合長なぞわれわれの出る幕でない、殊に東拓が代行(事業を)受くる事となつてから

間島民議選擧
果して紛糾

【間島】一波瀾は免れまじとの豫測で執行された龍井朝鮮人民會議員選擧および會長、監事選擧は果せる哉去る十一日の總選擧によつて敵、味方の色彩を濃厚にし更に會長、監事(二名)選擧の十二日に至つて兩者の正面衝突を演出し今やこの收拾の如何は一に總領事館當局の斡旋によるものとされ成行注目されてゐる、選擧の結果は次の通り

議員當選▲一〇三票金鳳漢▲一〇〇票崔正郁▲九〇票權泰在▲八六票金元鎭▲八二票姜源厚▲七四票安昌萬▲六七票金寅植▲六五票李億俊▲五一票趙昌九▲五〇票吳明彥▲四九票金貞洙▲四九票金河千▲次點者四十九票姜咏彥なほ會長には二四一票で姜樞(次點金秉翼)、監事には一〇二票で李容韻(次點鐵錫成)が當選した

霧島の午餐會

第三艦隊司令官谷口中將は廿三日正午より慶北須藤知事、神谷地方課長、迎日郡守外數名を旗艦霧島に招待し答禮の意味で午餐會を催した

第廿四驅逐隊

【鎭南浦】入港中の鎭海要港部驅逐艦第二十四驅逐隊檜、樅、榊、桃の四艘は二十三日午後五時出港木浦沖大黑山列島へ向つた

軍艦見學で大賑ひ
廿三日の浦項

【浦項】二十二日は未明より終日降雨があつたので艦隊の觀覽も人出なく他郡地方より申込みの團體も電信電話で謝絶し來たり一般に悲觀氣分に充ちて居たが二十三日は朝來曇天で漸次晴れたので俄に人出を増し海岸大棧橋に設けた渡船場附近は人を以て埋まる始末、郡および消防組では艀船十二艘、發動機船三艘で間斷なく沖合へ送つて居たがそれでも收容し切れない有様で浦項川口方面は觀覽者と上陸將卒で大賑ひであつた

雨中のお手植
郡廳前庭へ松

【浦項】高松宮殿下は二十二日佛國寺より朝鮮鐵道會社慶東線發車に召され、午後三時廿九分浦項驛御着浦項自動車に召され小普通兩校生徒官民多數御迎への中を御迎日郡廳へ御成遊ばされ郡廳前庭に記念のため雨中松を御手植あり郡廳貴賓室へ御少憩の上官民御送迎の中午後四時御歸艦遊ばされた

鎭南浦穀物組合の不可解な態度
信川當業者との握手も成功するか否か疑問

【鎭南浦】信川方面の產米は地勢上鎭南浦へ移出さるゝ方が有利であるにもかゝはらず大部分が仁川へ搬出された事は鎭南浦の經濟機關であるといふので過日黄海道居昌技師鎭南浦穀物商組合員上田技師に依頼して信川の穀物商と鎭南浦の穀物商と握手する事になりその日取を本月十八、九日と定めた處鎭南浦穀物商組合では費用は組合で出すから幹部も行け彼も行けと方面ひの慾望も起り女學校長までも出席を勸誘したので信川側は大いに驚きこれは握手の爲でなく鎭南浦の穀物商を迎ふる事になるので道や郡に相談して援助を受けねばならぬといふ處から日のべを申込んだ結果廿三四日と決定し鎭南浦一行は廿三日午後二時信川に向つたが折角の握手が遊山氣分となり一席の歡迎會と遊泉氣分を味はふのみに終りはせぬかと心あるものは歎いて居る、鎭南浦穀物組合幹部のやり方は近來不可解の事が多く先般穀物檢査所移轉運動のためと稱して上道せし際の如き多數の人が道に押かけながら知事や內務部長は元より米穀檢査所長にも面會せず松本課長のみに面會した如き又今回の企てに經濟界長の出席を勸誘した如きはその一例である、殊に後者は目下非難されてをる際問題と何等かの關係ある不純な策が含んでをりはせぬかと疑惑の眼を以て見られて居る

迷宮に入つた金塊商殺し
寢込を襲はれた犯人二人
檢事局で取調べ中

【南川】世間の耳目を聳動せしめた遂安郡の金塊商殺人事件は一時迷宮に入つた觀があつたが、その犯人砂金採集勞働者金致玉(二五)および李昌龍(二七)は八月二十六日の未明石峰洞在所を中心に遂安署および附近駐在所員の包圍により寢込中を捕はれ目下檢事局で取調べ中であるが、同人等は外一名のもの(總理中)と七月廿六日遂安郡□嶺の中腹で京城德力支店に金塊を賣却し、歸郷の途中にある水口面金光里の地金商林貞植(五〇)を殺害し所持金二千餘圓を分配した上同夜は山間で自宅に歸り殘りした金は軒下の鼬の中や豚小屋附近の土中に隱してみたものであるが警察では同日右の鑛で同人等に出あつたといふ女の口から端緒を得て逮捕するに至つたのである

製紙工場新設
黄海道谷山に

【南川】黄海道谷山郡は百二十六方里中耕作面積は僅に二萬二千町步で林野面積は十六萬餘町步もある關係上農民は多く副業に從事しつゝある、天然生楮による朝鮮紙の製紙額は年額五百二十塊(一塊二千枚)を出し大部分は原料のまゝ移出されつゝあるが郡守梁然燮氏は着任以來鋭意斡旋する所あり今回組合員二百二十二人に拠つた結果建坪二十七坪(見積り價格一千圓)の谷山模範製紙工場を設立する事となり目下地均中であるが十一月中には竣工の豫定である

京仁兩取引所の合併は無意義だ
京城三元老に打切を懇談
要望した反對委員

【仁川】兩取合併問題に關し京城の澁澤、釘本、荒井の三氏は二十二日午後二時來仁、公會堂において力武委員長、後藤、杉野、伴、飯塚、張の諸氏と會見し午後五時まで互ひに意見を交換して懇談したが、委員側は合併の無意義なるを說いて打切を要望し三氏はすでに重役會において合併を利益と認めかつ京仁經濟共通上有利なりと信じて提案したるものなれば打切については考慮の要あり、なほ府民の絕對安心出來る方法についても考慮の上後日再會したいと述べて會見を終つた

遂安の金塊商殺し 前列右から端緒を得た金永根巡査、二人目犯人金致玉、四人目犯人李昌龍、五人目捜査主任大阪警部補

奉天雜俎

商議書記長の更迭

近來滿洲では商議書記長の更迭が流行する、奉天の商議書記長小笠原氏は突然辭職して後任者として長春の書記長であつた野添氏が來任した、其の爲めに長春へは大連から行つて後任となつた、安東も亦前書記長は辭任して大過なく何ぞあるまいが奉天の更迭は左程でもあるまいが奉天の更迭に無理がありはせぬか、少くも前任者の定款に觸れて妙な節はなかつたか、既に更迭した以上それを見て缺げた處はなかつたか、又商議と云ふのではないが野添書記長も決して萬年書記長で終る譯ではあるまい何れ其の內に更迭を見るであらう、故に其の時に際して再び今回の小笠原氏が退任を餘儀なくされたやうな跡を止めない樣に今から希望して置く、商議序にもう一つ吉川副會頭は吉敦鐵道工事の請負決定と共に辭意を洩らして居たが愈々それが實現する事となつた、近々後任者の選擧がある筈であるが目下の處では三谷末太郎氏と森岡三氏との呼聲があるが、結局は森氏の選任を見る事となるであらうか、記して經過を見る事とする

南滿製糖の復活

南滿製糖會社の幹部は既報の如く更迭した、新幹部は創立當時の專務橋本貞夫氏が社長として來任した而して其經營の方針も大に改めて積極方針で、前途を開拓すると聲明された、云はゞ會社は復活の途に其の第一步を印せんとしてる譯である、小さい一會社から見れば其の會社が經濟的に影響され株主に利益配當でも出來る樣になれば夫で良いのであらう從つてそれで幹部の責任は全うされた譯であらう然しながら夫を以て會社の使命目的は達成されたと云ふ譯には行かぬ點がありはせぬだらうか、傾聞く處によれば南滿製糖は甜菜の製造よりも此の際ジャワ粗糖を輸入し是れを精製して大に會社の成績を上げる方針だとある、是れが豫想通りに行けば無論會社の成績は上げられるであらう、今迄の借金も返へされるであらう、然しそれは一時を糊塗する變通の方法と云ふを憚らぬ

南滿製糖會社の計畫實現を見た所以は何處までも滿洲に於て生產される甜菜による製糖であらねばならぬ、吾人は南滿製糖が其の本來の使命目的によつての眞正の復活と積極的經營とが出來る樣に希望してやまないものである

井浦辯護士瀆職で收容
廿四日は家宅捜索

【大邱電報】大邱府辯護士井浦義久氏(元慶州地方法院長)は瀆職事件で廿四日事務所住宅の家宅捜索を受けたが氏は今夜金山より歸邱と共に收容されるはずである(廿四日發)

清州の秋繭
三千貫突破か

【清州】清州郡における本年の秋繭は品質、生產共頗る好成績で繭價は大正九年頃の春蠶繭に匹敵すると稱せられてゐる、販賣については本月十日より郡農會室において京城鐘紡の一手に買入れられ廿日までに二千二百貫、價格一萬四千四百圓に達し昨年の秋繭總數二千四百貫一萬八千圓にとゞかんとする販賣高を示してゐる、なほ掃立枚數は昨年に比し三百五十枚の增加であるから販賣末期の九月三十日までには三千貫を突破する見込である繭價は昨年より格安で最高八圓六十一錢、平均六圓四十九錢の相場である

水利組合用池で鮎を養殖
慶北道の試み

【大邱】慶北達城郡花園面城西水利組合用池に鮎養殖の目的で鮎二十萬尾分を放養の爲め二十三日本府水產試驗所藤本技手が來邱し實施に着手した

谷山の葉煙草

【南川】谷山タバコ耕作組合は大正七年の創立で郡庶務主任の斡旋であつたが昨年十二月分離して邑內入口に事務所および倉庫を新築し同時に收納作業一切は組合の手に移つたのである、理事今關氏の談によると昨年度の組合の管轄する耕作面積二百五十町步で收納は七萬三千八百四十九貫、價格八萬七千二百四十三圓であつたが本年度は三百廿町步、豫想約九萬貫、價格約十萬圓の見込である、本年度は長期降雨の爲め下四五葉には腐蝕して平均作よりは約五分方の減收である、谷山郡の葉タバコは古來有名なものでかつては年々李王家獻上の光榮を有し又谷山郡農家收入の第一位を占めて居るものであると

遂安栗
三越より注文

【南川】一口に平壤栗といつてもその產地は廣大なる區域に分布されて居る、その一部產地である黄海道遂安郡の栗は古來有名なもので總て平壤栗として取引されつゝあつたが今回京城三越吳服店より多量の注文に接し郡では目下これが斡旋中である、郡の產出量は約三百五十石內外であると

無煙炭田問題
平商で研究

【平壤】無煙炭田の開放問題は平壤地方の實業家に異常のショックを與へて居るが平壤商業會議所では廿八日午後一時より臨時評議員會を開き、同問題に對する研究討議するはず

新羅三祖王陵
秋季享祭擧行

【慶州】新羅三祖王陵の第一回秋季享祭を二十三日擧行午前十一時朴氏赫居世王陵、午後一時昔氏脫解王陵、同三時金氏味鄒王陵の順序で祭典があり參本府宗教課長須藤本道知事、朴慶州郡守、陵參奉の外地方兩班儒生數十名參列莊嚴を極めた

永登浦の學組議員始興郡守を彈劾
組合規則の改正決議に干渉したのが發端

【永登浦】永登浦學校組合議員會では二十二日の通常組合會議を開催現行組合規則の改正および同給與規定改正の二項を決議した、然るにその後始興郡守の右決議に對する態度は干渉するものであるとなし郡守の態度に面白からざる氣勢が見るに至り廿四日午後一時から更に組合會議を開き郡守の彈劾を申合せ不日總督府に陳情することになつた

大邱の冒險飛行
二十六、七日

【大邱】大邱土木建築組合主催の冒險飛行は二十六、七日の二日間大邱練兵場で行はれる、參加飛行士及び技師女流飛行家氏名並に當日のプログラムは左の如くである▲名古屋飛行學校長陸軍中佐御原福平氏▲教官一等飛行士遠藤辰九郎氏▲同落下傘飛行士日野俊雄氏▲同技師太田喜八郎氏▲同佐藤賢▲飛行家澤田兼一氏同二尾貞禎氏▲女流飛行家田中芳子、籔內芥子、小澤米子、李貞喜、プログラム▲模擬爆彈投下飛行▲翼上起立飛行▲女流飛行家翼上步行曲技飛行、旋轉、逆轉、宙返り、錐揉▲高等飛行木葉落し▲空中綱梯子飛行▲同乘飛行(希望申込者抽籤に依る)

全國山林大會員三百名の大一座
廿八日大邱へ乘込み

【大邱】二十八日午後六時十二分大邱着列車で全國山林大會出席者約三百名が來邱する、共進會役員全部驛に出迎へ自動車二十臺に分乘達城公園內大邱神社に參拜朝陽館內の大歡迎會に臨み宴中は內地人藝妓および妓生女給約八十名が酌斡旋することになつてゐる、二十九日は共進會場並商品陳列所等視察し午前十時四十六分發京城に向ふ豫定である

築港問題陳情

【仁川】築港擴張期成會役員吉田、野口、後藤、飯塚、岡本の諸氏は二十三日午前中、本府に齋藤總督を訪問し築港問題につき陳情した

印紙税研究會

【仁川】仁川商業會議所主催印紙税研究會は二十三日午後一時より公會堂において京畿道村山屬を講師として種々研究する處があつた

清浦子一行
平壤を視察

【平壤】清浦子爵一行二十四日午後二時半着市內各方面の視察をなし七時より鐵道ホテルにおける官民有志の歡迎會に臨み二十五日午前一時十五分發北行した

關東廳記念祭へ

【安東縣】關東廳始政二十周年記念祭へ安東縣から招待を受けて出席する人々は西澤領事、武村副領事、繩頭、藤平副會頭、岡川驛長、中川滿鐵取締、尾崎警視、河野郵便局長等で何れも廿二日夜出發した、なほ大崎副領事、太田地方事務所長等數氏は職務の都合上缺席である

沙里院の物產陳列所
開場式は一日

【沙里院】昨年のくれ完成をつげた沙里院物產陳列所の開場式は本年の春擧行すべく李王殿下の御逝去のため延期となつてゐたがいよ〳〵十月一日盛大に擧行する事に決定した

元新義州署の巡査注文傳票で詐欺
品物を右から左へ入質し料理屋で大盡氣取

【安東縣】以前滿洲駐屯の憲兵で後外務省巡査や平北道巡査を拜命した高知縣生まれの中平猶(二七)といふ男は巧妙な詐欺を働いて安東署に捕はれた、それは去る七月下旬新義州署勤務中素行不良で諭示免職となつた日その足で安東に來て衣服を市場通り藤田吳服店から絹綿地一反を詐取し翌日から奉天に走り京城信券を出して本店の集金人に屆はれたが社員表を出して八月下旬該役四月二十日再び安東に流れ込み浮浪中又心を起し市場通り關東廳指定組合で自分は安東署の新米巡査だと稱し注文傳票一册を得てそれを利用して村岸吳服店川勝小間物店等で絹布類や金時計を購入した上川五圓で入質し由良之助その他の料亭で遊興し無一物となつて又も傳票を利用し遊興費を得んと滿洲屋吳服店に飛び込んだところを捕へられたものである

北青雜觀
咸興支局 一記者

◇二十日咸興を出て俗厚より行程六里を自動車に便乘し新開地と人がいふ北青につく

◇北青電氣の試運轉試驗の爲に道保安課の岩井君と同乘しまづ第一に北青會社を訪問すると本府遞信局の一技手が社長の椅子にフンゾリ返つて威張り散らしてゐる、下役人の田舍入りによく見られる圖で眞に笑止千萬である、聞けば試驗前に市民の希望で監督したため きついおしかりをかうむり職務は じめ一同が徹夜御大盡振りとたてまつつてゐる所だそうな

◇北青署の松岡警部君と初見參をやる。ふとつ腹で始終笑をたたえてゐるところまつ署內も圓滿と見える、その話の中には如何にも屈託のなさそうな愉快な所がある給仕君や齋公が書類を差出すとコツ〳〵と盲判を押す、君の手腕は我輩のあづかり知る所でないが今回の電燈問題でもヨカローで主義でやつてのけたのだと。

◇松岡君の趣味は玉に甚だ近頃は玉に熱心と聞く、一年足らずで五十突くからねーとは君の自慢である

◇その警察の前にある北青のクイン旅館料理屋は道廳をはじめ第十九師團、鐵道局、四十七聯隊等々々の指定旅館で軒先にはそれらの看板がズラリと並んである一度北青に足を入れたらこの旅館を忘れぬと言ふ評判のお役人のいふ所、それ程女將の接待振は當を得たものである

黄海六郡庭球大會

日時 十月三日 會場 平山郡廳

◇試合開始 午前九時◇會費一圓三圓(一圓三組毎賞を呈す)

◇申込期日九月卅日限り◇商品本社優勝旗外副賞

主催 本社南川支局

後援 南川運動部

空巣ねらひ
集金人の手柄

【鎭南浦】廿三日午後一時旭町宮館府東氏方へ或る集金人が行くと戸があいて居るので「與條今日は」と聲をかけてはいると中から鮮人が飛出し逃走し今一人の鮮人が逃げ場を失ひまご〳〵して居るを捕へ三和派出所へ連行取調べた處婦人が泣く子供を連れて附近の山へ遊びに行く處を見て留守宅に一人が這入り一人が張番して一仕事せんとせし處を見つかつたもので未だ一品も盗みおらざる事判明し將來を戒しめて釋放したが同家は先達ても自轉車を盗まれ商家は現金を盗まれた事あり昔日も給料の殘りが棚に置いてあつたが幸い盜難を免れたと大喜びで集金人に禮をいふておつた

市町村長團

全國市町村長朝鮮視察團一行六十余名は二十三日朝來仁、仁川視察の上、午後京城に向つた

地方集會

◇體育デーの打合 仁川體育協會役員は二十三日午後八時より公會堂に於て十月一日の體育デーに於ける競技につき諸般の打合せを行つた

◇仁川青年倶樂部 二十六日午後七時半より本町朝鮮信託會社內に於て例會を開催すと

◇內務部長歡迎會 二十三日午後七時晋州在住官民五十餘名は初巡廻の松井慶南內務部長を聚月に招待して歡迎宴を開催した

地方人事

▲安田會寧支廳檢事 二十四日寧北發沙里院に出で筑前屋に投宿二十五日發急行にて赴任

▲三笘瑞興支廳檢事 二十四日午後十二時沙里院に下車筑前屋に投宿二十五日赴任

▲三好武二氏 大每懸賞論文『五十年後の太平洋』の一等當選者三好武二氏は二十五日午前十一時五十分大邱發特急で京城へ向つた驛頭には官民多數の見送りあり盛んであつた同氏は京城へ二十日間位滯在し內地へ向ひ十一月下旬頃を以て渡歐する筈

胃腸藥 村井弦齋先生發見 **タラコン**

專門大家も賞用する 信用第一の皇漢藥

▲胃腸を根柢から改造し ▲胃腸の筋肉を引締めて

△死期の切迫におびえた人
△不治の難病にもがいた人
△十年の長病になやんだ人

そんな人さへ僅の間に治つた

治驗は斯の如く專門の大家も其卓効に驚きタラコンを患者に投藥する醫師が年々に増加します此卓効あり信用あるタラコンを知らずして胃腸病に苦しむ人は不幸です即時服用して健康と幸福をお求めあれ

◆胃腸病の本體 皆さんが何か召上ると、胃腸は直に活動を始め、消化液を出しながら、たえず伸びちぢみして食物を消化し、その中の滋養分を吸收して殘りのかすは肛門から、體外に押し出します、左様に胃腸は夜ひる働きますから、自然その筋肉が弛緩して伸び縮む力が衰へ(アトニー症)胃が腸が下がつてしまひ、(胃擴張)又は落ち下り(胃下垂)消化液の中に酸分が多くなり、(胃酸過多症)少くなり(酸涸少症)或は又胃腸の內臟の粘膜がはれ、又はただれ(カタール)ひどくなると筋肉まで潰がつき(潰瘍)腫物(癌)が出來ます、胃腸病は大體こんなものであります。

◆根本的胃腸藥 胃腸病は前述の通りであるから、食物が胃腸に滯つて便秘し又は胃腸をす通りして下痢し、腹がやけ腹がはりゲツプが出て、ガスが溜り腹がなり痛み筋はるなど、さまざまの苦痛が起りますが、此苦痛は病氣の枝葉であるから、只だ下痢を止め通じをつけ、消化を助け胃酸を中和し痛みを止めるやうな一時的の藥では、病氣は中々治りません、胃腸藥タラコンは、これらの病苦を根柢から一掃する力強き藥であつて伸びちぢむ力の衰へた、胃腸の筋肉を引きしめ、その機能を旺盛にし、消化液の分泌を適當にし、カタルや潰瘍等の患部の細胞を變質して、胃腸を根柢から强健に改造する特異の效能があります即刻御試し下さい●

藥價 散劑 錠劑 五十錢 各五十錢 一圓 一圓廿錢 二圓五十錢 五圓十圓 ◎送料十二錢府外四十五錢

東京小石川區下富坂町貳拾番地 和漢藥專門 本舖 **無量壽藥園** 電話小石川二九五六番 振替東京二〇〇二番 (全國各藥店にあり)

肺と腸

肺病の原因である結核菌は、肺だけでなく五臟六腑いたる處を犯し殊けても肺の次には腸を犯して肺腸結核を起す、腸は全身の營養をつかさどる處であるから最も怖るべきで一旦この病にかかると忽ち全身の營養困難を來し危險が急速に迫つて來る。特に十代二十代の男女青少年は危險の度が最も甚しく紅顏胸髪一朝にして影を失ひ、肉落ち骨出で、見るも無惨の姿と化して、空しく北邙一抹の煙と消え去るのであるが、藥界の新特效藥タラコン湯は、この怖るべき結核菌を自家の藥力を以て完全に退治すべく、その原動力を與へる藥であつて結核性の下痢、發熱、咳嗽、に最も効果があります是非御試用下さい御注文の際は必ず特效タラコン湯と御明示を乞ふ。◎藥價一圓五十錢三圓六圓十二圓◎送料十二錢府外四十五錢

ぜんそく湯

先年某帝大教授夫人が、心臟病からぜんそくを併發し、百藥效なく死期目前に迫つた時此ぜんそく湯をお用ゐになり、忽ち快癒せられたので、大學の博士方も驚歎されました、如何に重いぜんそくでも直に治り、通用すれば根切れする、そして何等の副作用もない、數千の實驗と、最新の學理とが保證する、最良のぜんそく藥です、即時御使用下さい、◎藥價壹圓五十錢三圓六圓十二圓(二十七物御注意)◎本舖東京小石川下富坂町二〇無量壽藥園(振替東京二〇〇二)

紙上病院

幼兒の目脂

【問】生後六ケ月の男子朝起きた時などよく目やにが出て困りますが目が惡いのでせうか何か自宅療法はありませんか（江華島心配女）

答＝眼やにが出るなら結膜炎か或はすでにトラホーム等に罹つてゐると思はれるから醫治を受けるが安全であるがまづ三、四十倍の硼酸水で洗滌して御覧なさい然し永く放任してはいけません（江頭眼科醫院長）

慢性トラホーム

【問】二十六歳、慢性トラホームを昨年某病院で手術を受け全治の旨、醫師からつげられましたがその當時から右目に粟粒大のトラホーム一個あり根治の方法はありませんか（慶州郡延津面小坂）

答＝トラホームの慢性の者は多く手術治療を要します一度専門醫の診斷を受け治療方針をお尋ねなさい（江頭眼科醫院長）

近視の遺傳

【問】強度の近視に苦しんでゐますが最近結婚問題起こり、相手の娘（十八歳）もまた近視十八度です、私はこの結婚を望んでゐますが、双方近眼だと子供に遺傳すると聞き決し兼ねてゐます、如何でせうか（演江通りアイカワ）

答＝近視眼も他の體質を遺傳する如く兩親或は祖先の遺傳あるもので近くは兩親の一方において近視眼あれば子供にその性質の遺傳を實見する事が多いのです双方近視とすれば遺傳は免れ難きものと考へねばなりません、近視眼も強度ならざる限り絶對に忌むべき疾病とはいひ兼ねますが考へものでせう（江頭眼科醫院長）

涙が出る

【問】兩眼から涙が出ます多くなり寒くなると一層甚だしく出ます、病名および療法を（長谷川町松本文夫）

答＝涙道が狹窄せるか又は涙嚢炎等があつて涙液の排泄を害してゐるのである療法は器械的になりますからしろうと治療は困難です（江頭眼科醫院長）

乳が出ぬ

【問】はじめて子供をうみ乳は張切つてゐるが乳首が出てをらぬ上、くぼんでゐるので授乳が出來ません、乳首を出して吸よい様にする方法はありませんか（龜井靜江）

答＝乳首を指先で一日に何度となくもみ上げてをると自然に出て來る様になります、そして根氣よく小兒に飲ませることが必要です（産婦人科二宮博士）

紙上キネマ 一〇一
自由の天地
帝キネアシヤ作品

キャスト

原作　春山愛治
監督　櫻田復太郎
脚色　大森勝
撮影　立花幹也
山田敏雄　里見明
大山巖一　藤間林太郎
金湖善　吉田豐作
娘春蓮　澤蘭子
同紅蓮　杉村千惠子
叔母政子　伊川貞子
許嫁ます子　二條玉子

梗概

家庭の不和…朝鮮への憧れ…さうした心持から敏夫は、朝鮮を訪れたのであつた。けれども知己も友人もない彼は、直ぐ生活に窮してしまつた。そして困憊しきつて途上にさまよふて居る時、鮮人樵夫金湖善に救はれた。異境の空で人情に飢て居た敏夫は、金の娘春蓮の親切に、何時ともなく戀を感じるやうになつた。敏雄は學生時代にきたへた腕に斧を揮つて、希望と平和に滿ちた歳月を送つた或日金は仕事中に重傷を負ひ、二人の娘の後事を敏雄に託して死んだ。その時敏雄の友人大山は、敏雄の叔父が死亡した知らせをもたらして渡鮮し、彼に歸郷をすゝめた。やがて敏雄は春蓮紅蓮の姉妹を伴つて歸國したが、彼の許嫁ます子は、春蓮姉妹を非常に虐げたので、姉妹は朝鮮に歸りたがつた敏雄も今は春蓮と別れるに忍びなかつた。富も名譽も捨て姉妹と共に再び朝鮮の愛の殿堂へと志ざしたのである。

（寫眞は里見の敏雄玉子のます子貞子の政子蘭子の春蓮）

京日童話
鳩の武士（五）
澤井章三

……もうこの邊で魔神に出會ひさうなものだと、年老つた忠義な武士は、なほも山深く進んで行きました。

いよいよあひに、追ッ手も來ない様子、一ト息いれようと馬から下りると、草の上へ足をなげ出して一ぷくしてみました。

と後の方からつめたい風がサッと流れて來ましたので、思はず振向くと、そこには大きなおぢいさんが立つてゐるではありませんか銀色の長いひげをなでながら鋭い眼つきで見おろしました。

『拙様は何者ぢや』

『へい、わたくしは托鉢の坊主めでございます』

『何用あつてこの山へ參つた』

『魔法使の神様にあひたうてまゐりましたので……』

『魔神はわしぢや』

『エッ、そんならお前さまが……』

『なにッ、わしに願ひがある？』

『如何にも左様でございます』

こゝぞとばかり、一生懸命になつて忠義な武士はいひ續けました『魔神さま、私は人間界でさんざ苦勞を致しましたので、つくづく人間がイヤになり、かうして出家になりましたが、これでも矢ッ張り人間でございまして苦勞が絶えません、この上は、どうかして人間をやめて、のん氣な小鳥にでもなりたいと思ひます、魔神さま、どうぞ私の望みをかなへて下さいまし』

『ほゝう、面白い奴ぢや……して何になりたいと申すのぢや』

魔神はかういつて氣味の惡い顏に笑ひを浮かべました武士は腹の中で思はず『占めたッ』と叫びました。

『へえ、あの……無邪氣な、鳩になりたうございます』

『なに、鳩になりたい？　よし、かなへてつかはすぞ』

魔神はさういふと、やがて何か三度呪文をとなへて杖をふりました。すると、今の今まで前に坐つてゐた武士の姿は、不思議や忽ち掻き消すやうになくなつて、その草の上には、一羽の鳩が首をかしげてクゥ／＼と鳴いて居るのでした。やがて、鳩はバタ／＼と羽ばたきすると、高い木の枝から枝へと飛び廻りました。

槇の葉影…◇
京城　大塚楠畝

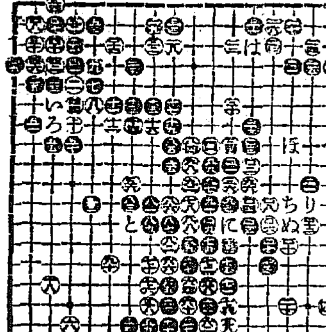
葉香なる最終便や虫の宿
起伏しもかなはぬ父や稻の秋
我庭のうのけの殼やドリをり
年少の婢に戀文や芋の秋
公園や花火見る人見らぬ人
花野茶屋土工相手の小商ひ
銀漢や馬走らする小提灯
蜻蛉に槇の葉影のありにけり

郵便飛行飛來
京城へ初の便りや秋日和

眼疾
瞑想の句作もよしや夜半の秋

新局圍碁（七）

向先　井木（三段）
一男　賞谷（初段）



日本棋院講評

本局は終了までに日を費すこと實に五日間、而も白武運拙なく中半にして陣骨するに至つたが、兩者苦心惨澹の跡目覺しく觀者をして手に汗を握らしめるものがあつた。

さて黒（十一）は「い」に打ち白（四四）黒（四三）白「ろ」黒（四一）となるを普通の定石とするが、（十七）までかく模樣を張つたのは、此場合面白い趣向である。

白（二二）はむつかしい處で是れを（八五）に打ち黒（八四）の時白（三五）に伸び大に白も模樣を張るなども一策と云ふべく、また（二二）を「は」に打ち（三二）に白（一四）へ打つ手を含むなども面白いであらう。白は黒の勢力範圍で活路を求めねばならぬから（三四）に追撃するがよい。

黒（三三）は（二五）にても尚（三六）に飛び白（九九）の時（三五）に飛び白（九七）黒（四二）と打ち飽くまで此白を攻めながら勢を張るがよい、猶の如く（三四）（三六）と白を容易に脱出せしめた爲、攻める調子を失ひ黒の勢稍々遲滯せるを見る。

白（四十）は考慮にすぎた嫌手で、爲に以下（五七）までとなつて白の勢頓に急追せるを見る、本局白の敗北は此手にあると言つてよい。先づ（四十）の手を「ほ」に打つて中央の薄味に備へ且次に「へ」に打つ調子を含むがよいのである。

黒（七一）は（八七）に打ち白「と」の時（七一）以下の手筋を打つが一層堅實できびしい。

白（八六）は（八七）に引いて居れば無事であるがそれでは黒に利かぬから強行したのであらう。

白（九四）は「ち」に出でて白の逃げるを待つて轉向したい處であるが、さうすれば黒に「り」と打たれ白「ぬ」黒（一二）と捨てられて後「る」は活きられるので是れは白地が足りぬのである。

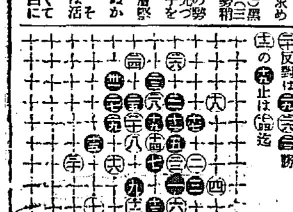
黒（九七）以下の黒の手段は、その結果を深く見極めてからでなくては打てぬ手で是れは白の努力の程も思はれる。黒に（一〇三）と取られて白には良手段なく逆に中押とはなつたのである。

九月廿六日
（舊暦八月二十日）△三碧△御東方△日曜△戊午△先負△收△尾宿

▼三碧▲投機的の事に手を出しての大失敗を招く日西と東と壬が吉
▼四緑▲依頼心を起さず心のまゝに進んで利を占む坤と壬と丙が吉
や訴事などは禁物坤と壬と丙が吉
▼五黄▲資本と努力との調合には利の緒上らない日坤と艮と巽が吉
▼六白▲何事にも控目が第一妄りに進んでは損する日艮と南と北が吉
▼七赤▲動もすれば難題を持込まれる熟慮つては凶巽と艮と庚が吉
▼八白▲新しい事は面白くない心穏かに持つて利坤と丙と艮が吉
▼九紫▲大に難を纏き紛擾を揚げるが縮括りが肝腎乾と巽と北が吉
▼一白▲馴れぬ事に手出しさへせねば大吉日となる日南と艮と庚が吉
▼二黒▲欺される事がある手堅く進むのが安全策坤と北と巽が吉

聯珠必勝法（47）

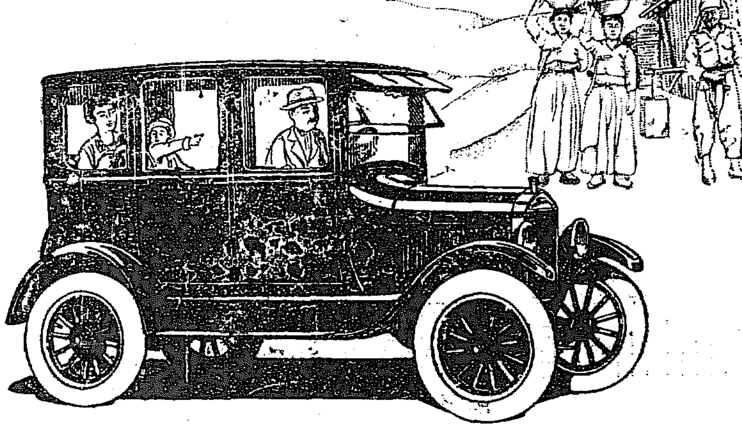
⑧は第十九番
㉛勝
㉖反對は㉕㉘㉛
㉗の㉙止は㉔迄



佐賀の猫【173】
南海夢樂作　石井滴水畫

首が唸り出す

殿の檢分も無事に濟んで、猫の首は城下の仕置場へ晒す事となりました。これは城下の者に猫の首を見せて、鍋島家の威勢を示さうが爲であります。さア怪猫退治をした、猫の首が晒しものになつたと、城下は勿論、近郷近在の大評判になつた。甲『おい／＼、お家に祟つた猫の首を見たかい』乙『む、見たよ、イヤ何うも凄いものダナ、あの中で一番大きな奴がお部屋樣に化けてゐやアがつたんだ』甲『さうよ、首を斷られたといふのに、あの目を見ろ、おそろしい眼ぢやないか、睨と見開いて物凄い光を放つてゐる處は、何うみたつて死んだものとは思はれねえ……おい、お前はまだ見ないさうだね』丙『む、俺ア操遣つてまだ見に行かねえがへえ、死んだ猫の眼が開いてゐるのかい』甲『話の種だ、まだなら何をおいても見て置くがよい、まア一生の内に二度と見る事の出來ねえものだ』丙『さうかい、俺ア少し用のある體なんだけれども、ひよつと見そこなつたら、大變だ、早速行かう』△『お前さん猫の首を見に行くのかい』丙『アゝ、今話を聞くと恐ろしい代物ださうだ、一生の内に二度と見られねえといふから、これから一つ見て來やうと思ふ』△『ぢやア俺も一緒に行かう』といふ譯で、城下の仕置場は押すな／＼の大混雜、然るに猫の首を見た者は、必ず見た最初にゾッと致します、それ程物凄いこの首が、晝の内ェ格別の事もないが、夜になると眼をいからして、ウーム、ウーンといふ怪しいうなり聲を揚げます、何しろ晝の内は大概い目物だから、女子供にはよく見えぬが出來ないが中には折柄の月をさいはひ、夜中連立つて見にゆく者がある、△『オイ／＼與作どん、俺アちつとも知らなかつたが、お母アが病氣ださうぢやないか』與『ウン、一昨夜からすつかり寢込んで仕舞つて、今ぢやア枕も上らない大病人だ』△『さうかい、其奴あ醜だらう、何だね、病氣は……』與『猫の病氣』△『ナニ猫の病まいだよ』△『串戲をいつちやアいけない、俺もこの年になるまで隨分色々な病まいを聞いたが、猫の病氣といふのは聞いた事がない、そんな病氣があるものか』與『ところがあるんだ、一昨夜隣の内儀さんに誘はれてお仕置場へ猫の首を見に行つた』△『ウン』與『さうすると首が睨と眼を開いて、ウーン、ウーンとうなり出したものだから、阿母アも内儀さんも腰を拔かして仕舞つて、やつと余所の人に助けられて歸つて來た、それからどつと床について今ぢやア枕の上らない大病だが隣の内儀さんも矢張り寢込んで仕舞つて、これも阿母と同じやうに大病だ』乙『おや／＼猫の首を見てから大病人になつた……成る程、それぢやア猫の病だ』與『今日は大分快いやうだけれども、何うも熱が出て困つて居るのだ、あの猫は死んだ後まで人にたゝるから恐ろしい！』そばに居た人が甲『イヤそれは本統だ、現に太兵衛の奴がわざ／＼夜中見物に行きやがつた、さうすると、猫がうなり出したので野郎すつかりふるえ上がつて仕舞つて、雞頭宅へ飛込んで仕舞つたよ』△『ふむ、さうか俺アチッとも知らなかつたよし今夜見に往かう』甲『おい／＼よしねえ、よしねえ、猫の病氣に罹つたら大變だ、惡い事はいはねえから見ねえ方がいゝぜ』△『さうか、矢張り往かねえ方がいゝかなア』といつたが、よせといはれると余計に見たいのが人情、この男も友達の意見も聞かずに、夜中に行つてその場から半病人だ『アゝ、恐ろしい、恐ろしい、矢張り見るなといふものは見るものぢやない、ア、思ひ出してもゾッとする』この評判が又パッとひろがる、第一に驚いたのが首の番人で、これには足輕が交代で詰めて居りましたが、毎晩のやうに猫の首がうなりだすので、どうも氣味が惡くて夜を明かす事は出來ない、足輕『ねえ、お頭へまうし上げます』金『何だい』足『逆も私等ちやアたまりませんから、何うか士分の方へお願ひしたいものでございます』金『何が勤まらない』足『何がつて猫の首がうなりだすんです、それが毎夜中見物に來た町人百姓の中で大熱を發した者が、何人あるか知れません、イヤもう厭な氣味が惡いの何のといつて、逆も私共には勤まりませんから、何うか士分の方をだして下さい』といへるもの、金『ソンな事をいふな、首の番人に士分が出來ない、しかしそれが本當なら捨て置く事が出來ない、兎も角御家老にまうし上げて、何とか早々に始末をして貰はう』金太夫から右の趣をお聞けにおよぶ。



フオード
フオード　セダンは
安全第一の自動車

改良フオード　セダンは全家族を滿足させる箱型自動車であります。車室内はひろ／＼として、乘心地良く、そして運轉にあまり費用がかゝりません。

フオード自動車は操縱が至て簡單で、最も確實に出來て居りますから、雜沓の市街でも、災害の起ることは殆んどないのであります。

斯く安全第一である主なる原因は、踏子でギーアを換へること、強力なブレーキのあること、車基の短いこと、殊に車體は全鋼製で、大きな窓ガラスが附いて居る爲め、觀望が充分に出來ること抔であります。

フオード　セダン
金二千六百七十圓
京城又ハ釜山渡
セルフ　スターター及び
バルーン　タイヤ附

フオード特約販賣店
株式會社セール商會
京城竹添町一丁目七五番
私書函西大門第九號
電話光化門三六九・一六一九

陳列室
京城鐘路四丁目壹番
電話光化門一三三二
ダーヴイス及サアデーラー
全朝鮮

日本フオード自動車株式會社

◎讀んだ其日から役に立つ＝分り易く親切な
大評判の法律書
驚く可き空前の大安價　發賣

○本書は縦六寸、横四寸五分、厚さは一寸五分
○總紙數六百七十八頁有り洋裝上製の大冊なり
定價四圓五十錢の處短期特別大割引只の壹圓七拾錢
●此の寶典一冊あれば辯護士も六法も不要
●どんな難問題でも即座に解決が出來る●

本書は民衆法律の大家、法學士辯護士前非恪堂先生が數年間、心血を注ぎ苦心の結果大成せる他に類のない特色を有し、從來一般の難解なる法律書と選び出來得る限り通俗的に男女誰にも分る様に懇切に民衆法律諸問の見地より、金錢上より起る諸問題は勿論、民事刑法、訴訟、土地家屋の賃借、結婚離婚、相續法、戸籍上の諸問題その他法律百般の事は細大漏さず網羅してあれば本書一冊にて如何なる難問題も少しも心配せず獨りで解決する事自由自在、故に本書一冊は實に一家の寶典なり。

大景品　法律辭典出版記念として今回御註文者に限り
金五拾錢
東京市神田區駿河臺小川町一
振替東京七一〇六二
國民社

學校
理科學機械標本
掛圖其他學校備品
各種藥品賣藥
（電話[illegible]）
[illegible]

財界のにほひ

天を仰ぐ。

營業税反對の聲が起りつゝある。味噌をいふのではないが財界子はさきに反對あがり得べき機會であることを諷唱して置いた。しかし結局反對はよいことではあるまいとも附言して置いた。この諷唱と附言とを同時に立てると明らかに矛盾する。しかしこれを臨時的に考へてまづ商工業者の立場に立つてその苦痛感を測量して見た上これは成る程ひどいと同情し、がさてしかしながら半島開發の目的のために手段はえらびかねるとやらに押して行くと少しも矛盾ではなくなる。この渡邊商議會頭の所見は如何◇渡邊君は初め營業税の新設を知らなかつた、從て商工業者の苦痛感に同情しなかつた。同情しなかつたとすれば仁川に先立つて反對をあげたに相違ないのである、後にこれを知つたが渡邊君は例の四大要綱中鐵道政策を定まらんとする時百萬二百萬の負擔何かあらんと考へたものである。營業税の新設また可ならずやとは渡邊君當初の意見であつた。ところへ仁川の商議がさわぎ出した。仁川ばかりか京城でも商工業出身の評議員がさわぎ出した。◦さわぎ出して見ると捨て置きがたい、四大要綱の一といつて天下國家の大議論ではごさりませぬと商工業者が叫へるのでそれもそうだといふ氣になる。渡邊會頭痛し痒しのていである。◇むかしギリシャに天を仰いで星を數ふるに熱中し溝の中に落ちた哲學者があつた。落ちた溝の中から尚天體觀測をやめなければ偉人でもあるが狂人でもある。◦梅口經夢ただの人間はまづこゝの溝からはひ上ることに熱心であるだらう。熱心しつゝわれ天を仰ぐの切にして俯して足下を見ざりしの迂を悔いるだらう。夫れこれを悔いつゝ商議本來の使命を何處にありしやに想ひ到るものは救ひ易い。小乘といはばいへ卑俗と笑はば笑へ商議本來の使命を果しつゝ行餘力あらば天下國家を論じ四大要綱を掲げ出すべきであつた。半島商議の盟首は今しも商議固有の商工業者のためにスッカリ立ちおくれてしまつた。回復の見込は殆んど立ため。これ渡邊君が本末顛倒舍本逐末の咎である◇どうせ營業税は施行せねばなるまい。決定權はないが商議聯合會といふものを開いた所で若干希望條件付賛成または意見具申に止まると見られる。唯わが説はこゝに京城商議活動性の鈍感を指摘し將來を戒しめ得れば足る

營業税の新設に 止むなく賛成
近く役員會を開いて決める 京城商議の態度方針

營業税新設され百萬圓增徵となるは商工業者として可なり苦痛なりとし、まづ仁川商業會議所が營業税反對を標榜するあり京城商議以下各地會議所へ移牒共同運動に着手すべきを勸說しその氣勢漸く尖鋭となるので、渡邊京城商議會頭は吉田仁川商議會頭と同道總督府を訪問草間財務局長と會見したしく懇談する所あつたが之に對し草間局長の語るところは十六年度豫算編成には昨年のごとく臨時補充金として六百萬圓などもらふ事は出來ぬ、殊に本年は税制を整理して財源を捻出べく大藏省と一種の約束をして居る關係もあり一方には治水や鐵道方面に相當新規事業もあるのでかたぐ\增税は止むを得ないのであるといふことであつた兩會頭は強いて反對することも出來ずそのまゝ引取つたが、仁川商議としては飽まで營業税新設の延期少くも減額すること\したき方針であるが京城商議は大體やむを得ずとして賛成する方針にして近く有賀、河内山兩特別委員の出席ひたる上役員會を開いて態度の最後的決定をなすはずである

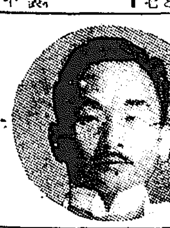
賛成も出來ず 反對も出來ぬ
＝痛しかゆしの立場＝ 渡邊會頭語る

京城會議所としては十六年度新規豫算に增額するものは鐵道に於て七百萬圓、私鐵買收千二百萬圓、此の私鐵は即ち千二百萬圓を工事に使用せば更に擔保として此の金額丈け借入可能故、結局私鐵に於て二千四百萬圓增加し合計三千一百萬圓の增加となる譯である、官營に於て十七

增收見込
朝鮮米作豫想

米作第一回豫想は二十七日發表のはずであるが二十五日午前十一時までに報告したる道は十二道で未着は咸南北、全南北、慶北は大部增收を示しあるから總計前年度に比し增收の見込である

社長格



朝鮮殖産銀行理事 矢鍋永三郎氏

◇故大塚内務局長の下、時實秋穗、澤田豐丈兩氏と並びて三羽烏とうたはれた昔もあつた。同じく開山の縁、同じく四十年東大の出、同期、同窓、同職にしてしかも同じ總督府の官吏たりしは殆どすべく三氏とも同じ家に世襲の血統を積んで居る感も命とすべきだ。この三羽烏それぞれに更に立つべき時が來て、時實氏は京畿道知事に去りて澤田氏はふこの頭取を手離して退官に入りだりて東拓に就職して居る。獨り矢鍋氏のみ居殘るはずはもとよりなく、むしろ澤田氏よりは一足おさきに殖銀の理事に拔擢せられたものである。この三羽烏、親鳥の故大塚氏の下にありける時こそ榮達の先後に世間から興味も持たれたらうけれども、落つれば同じ谷川の水だ、これからは器の大小の世のおほそのいたくもあり、めでたくもなくなる。誰が鳥の優劣を知らんやとはしやれのやうな大きなためめ。◇スモールやなべへ、の職ありやなしや。からだはチョコ々々だが職のこれ智。久しく財務局にそだち計數に明かに理論に長じ感受にさといとは人皆の認むるところ。そこを殖銀が買つて總督府が許した……イヤ總督府がそこをにらんで殖銀に買つけた……イヤ有やうは兩々相反映して是非にと氏を招じ入れたのである。さてはいつて見れば總督者たる昨日の地位と殖銀者たる今日の立場とは、大いに勝手がちがひ所在なしと考へたのも無理ない。[illegible]の間、有内食堂のウナどんをはづむこと二度三度、時計業表に水計圖を挿すこと二度三度、それで大ていの豫科試驗は及第。さて特高理事に斷る、重要問題に對しては、未だそれを聞かなければ、將來それがあつたとしてもよくパスと確信される。◇一つの、或は理事が既に殖銀派だつたとかいふ殖役等に、理事、矢鍋一族の資金を覗せたり起こしたりしたものだが、櫻井氏の期先ちて歸東するや後任理事は[illegible]かぬとあつて切られぬめおと松の負擔は三分の一より二分の一に增して來た。されど矢鍋氏等非凡の力量に信頼はかゝり、誰でも不安をいだくものはなく、よつて以て有賀頭取、勝の戀滿に聞はれもせぬ。好漢自愛せよである。（東鐵）

白米移出 振興策
精米聯合會の陳情內容

精米聯合會役員會は廿四日開かれたが仁川側の不參加の爲で精米業の根本的振興策は決定するに至らずたゞ打合せただけで終つたが廿五日は京城側役員の外に方武京次郎（仁川）井谷謙二郎（釜山）森鶴五郎（群山）の諸氏が午前中總督府を訪問殖産局長と會見し

一、十月二日より白米の計量にメートル法を用ゆること
一、合格米を更に白米として檢査さるゝは手數その他の苦痛少からざるを以て檢査を廢止なりとも輕減されたし
一、叺使用について二三の道が自道の製品を使用せしめて他道の製品使用を許さゞる如きは甚だ不合理なれば他道の製品自由使用を許されたきこと

その他白米移出振興策を具陳するところがあつた

米棉增收
作付千五百八十萬町

本年米、棉の第五回發表を見たがそれによれば第四回作付一千五百十四萬四千町が第五回は一千五百八十萬四千町、二萬町と前回より六十一萬四千町の增收であると

五分以內の增收で 六千二百萬石
米收獲第一回豫想

（東京電話）九月二十日現在本年第一回米收穫豫想高は本月一杯に各地の報告を取り纏め十月初め農林省より發表のはずであるが目下の所平年に比し五分以內の增收を豫想され六千二百萬石は動かぬところで場合によつては六千三百萬石を突破するであらうとも豫期されてゐる。累年第一回豫想高は左の如くである（單位千石）

十四年	六一、四九七
十三年	五八、一三九
十二年	五八、二六五
十一年	六二、六三八
十年	五八、〇六八
九年	六三、四九八

貸出金用途別
京城諸銀行

京城商議調査＝八月末現在の京城諸銀行貸出金用途別（同業者は出及借款貸付を除く）左の如し（單位圓以上は口數下は金額）

農業資金		
年賦貸付	[illegible]	[illegible]
貸付金	[illegible]	[illegible]
當座貸越	[illegible]	[illegible]
諸手形割引	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]
工業資金		
年賦貸付	[illegible]	[illegible]
貸付金	[illegible]	[illegible]
當座貸越	[illegible]	[illegible]
諸手形割引	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]
商業資金		
年賦貸付	[illegible]	[illegible]
貸付金	[illegible]	[illegible]
當座貸越	[illegible]	[illegible]
諸手形割引	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]
其他		
年賦貸付	[illegible]	[illegible]
貸付金	[illegible]	[illegible]
當座貸越	[illegible]	[illegible]
諸手形割引	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

產米增殖資金
全部貸出濟み

（東京電報）朝鮮の產米增殖計畫の爲めに預金部より本年度出すべき八百五十萬圓中土地改良資金五百十四萬六千圓はすでに東拓及び殖銀を經由して貸出濟みで殘額の灌漑資金たる朝鮮殖產銀行經由二百二十七萬圓東拓經由百參十八萬四千圓計參百六十五萬四千圓は二十日付前同樣の件で貸出された

秋繭高で製糸家の苦痛
品質鑑定の簡單化を當局に陳情

秋繭は製糸して一梱につき百五十圓の損失となりその補塡を夏秋繭價の[illegible]ないでゐた製糸家は昨今糸價の振はないに對し秋繭によりに期待外れとなりこれが挽回策を講じてゐる。即ち目下市中取引値は六十掛であるのに地方郡部は六十五掛乃至七十掛であつてこれを市中に搬入すれば運賃諸掛にて八十掛となり頗る高價なれば殆ど手のつけやうなくこれを製糸すれば一梱五百圓見當の損失となるので製糸業者はこの際非公式に總督府を訪ひ郡部における品質鑑定調査の慎重を依頼し是に調査研究機關の新設につき陳情する所があつた

歲入出現計
＝十五年度＝

【東京電話】大藏省調査十五年度歲入出現計および前年度比較左の如し

經常部合計		[illegible]
昨年に比し	增	[illegible]
臨時部合計		[illegible]
昨年に比し	減	[illegible]
歲入總計		[illegible]
昨年に比し	增	[illegible]

歲出は

經常部合計		[illegible]
昨年に比し	增	[illegible]
臨時部合計		[illegible]
昨年に比し	減	[illegible]
歲出總計		[illegible]
昨年に比し	減	[illegible]

（以上）

金組聯合移轉

京畿金融組合聯合會では事務擴張の折柄現在の舍屋では手狹を感ずるので廿七日より黃金町二丁目一二三の共益社ビルディング階上全部を借り受け移轉することゝなつたが電話は本局四千百八十六番

米國油田調査

【巴里二十三日發電】ソシエテ・ド・ペトロル會社は本國政府の旨を受け佛國內外の需要を充たすに過ぎざることを遺憾とし[illegible]のため大いに經濟的共同組織を作るため委員會を組織し油田の調査、開發の監督、節約方法の研究を企てる事となつた、油田の調査はアフリカ、小アジア、南洋、濠洲、太平洋諸島へも手を延ばす計劃なりと右の結果は[illegible]

商品擔保貸出
百八十萬圓

京城商議調査＝八月末現在の商品擔保貸出中主なるものは左の通りである（單位圓）▲朝鮮產品 [illegible] ▲輸移入品 [illegible] ▲合計 [illegible]

中旬在貨狀況

京城中部北部及南部を除きたる本旬末在貨は上り五、五七三噸下り二、二五六噸計七、八三九噸にして前年同期に對比し營業品一、[illegible]噸、商用品七六噸（一割八分）合計一、二三三噸（一割八分）の增加を見たるも前旬末に比すれ[illegible]

◎株式◎（廿五日）

京取短期

	寄付	大引	高値	安値
京取 前	二六・五	二五・六	二六・六	二五・六
京取 後	二五・五	二六・六	二六・五	二六・六
錘新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 前	九五・六	九四・四	九五・六	九四・四
大新 後	九四・五	九四・二	九五・三	九四・二

算定と日步

	算定(圓)	代用(枚)	日步(錢)
京取	二六・〇〇	一、五三〇	二八
錘新	一三八・〇〇	四四〇	一八
大新	九四・〇〇	三、九二〇	六〇
仁取	八六・〇〇	一〇	六八
同新	三一・〇〇	二〇（逆）二	二四
安取	七・〇〇	一五〇	八
朝新	一八・〇〇	四八〇	一四
以上日步二日分			

短期出來高 三、〇六〇枚 累計 一九六、五六〇枚

短期建玉表

	賣方	買方	差玉數
京取	六	一	五
大新	七	二	五
錘新	九	五	[illegible]
安取	一	四	[illegible]
仁新	三	四	[illegible]
久原	一	二	[illegible]

東京現株・大阪長期・大阪短期

[illegible]

安東株式

鐘新	一三七・六〇	一三六・九〇
久原	六四・六〇	六四・六〇
大阪東新	一五九・三〇	一五九・一〇

前場瓦落

前場 米棉三圓五十錢安大阪イヤ氣投げ現れ[illegible]堅調の折柄ながら俄然瓦落古川他小口の投げ五百株と近來の大商內あり錘新大穩に變し新田カイ正崎の利食賣物に三十七圓六〇と一圓四〇と本年四月以來の新安値に落した錘新瓦落の餘波を受けた大新京取も之に追隨本前場は大新九四圓四〇と一圓三〇安京取二五圓六〇と九〇安それぞれ新安値に落した

▲錘新一圓四十錢安
▲大新一圓二十錢安
▲京取九十錢安

後場一服

後場 阪地なほ下げ模樣に下値付利押下押しであつたが當所は戻りはまだ鈍らず一面利喰もあり小堅めかつた結局鈍く一服の狀態
▲京取不變▲錘新三十錢高▲大新二十錢安

錘新反撥す

大新は大阪落潮に當所は九十四圓一〇と本年の新安値を示したが錘新は前場來の慘狀に一寸下げ止りの觀あり後場は七圓九十錢と三十錢方反撥した

京取業績樂觀

阪地慘落を入れて窮境に陷つたのに京取がある。當所株として頃日來下げ氣味から漸く虛勢に轉じ目先下値に浙しく業績樂觀と相俟つて上伸び當然とまでいはれてゐた折柄諸株の落はつひに京取まで及び新田ウリに[illegible]に落したが引續出中反對向ひ二十五圓六十錢を更に下廻つたのは一は仕手關係からである。京取の價値は實價以上に落してゐる事は一般によく了知してゐるのとこ今朝の下げは一面より見ればそれ丈上進の餘地を與へた事となるのでそ買株を持つてゐる向は一向悲觀せぬ模樣なく反撥力增大を識歎して專ら上値を期待してゐる

環境の惡化甚しく 軟風吹きやまず

環境變動の間にありてなほ底流に一味の堅調あり警戒づかれながらも理想買の一點を固守したるもの自ずと堅調の硬化を覺束なきに至りたるのみならず不時の貿易入超に米國財界の逆轉あり長江沿岸の形勢はますく南軍に有利にして而も孫傳芳軍との衝突が豫想せらるゝ以上動亂終熄の期はかりがたく從て對支貿易は當然悲觀せらるるべからずあまつさへ政局不安にて中間內閣出現の觀測行はれ財界として積極的惡材料となるもの一もあることなく遂に理想買の市人をも賣りに轉換せしめ場面總賣り東西兩市場のみならず京取市場をも騒つて慘憺たる大瓦落の場面を演ぜしむるに至つたのである

大新は招伴

錘新の瓦落はさらでだに不人氣の市場空氣を一層沈靜に導き大新は九十五圓六〇と阪地より下節前引値より一圓五十錢安寄付アト大林白井ウリ新田買ひ定崗田邊の小口投げもあり結局九十四圓四〇と小戻大引した。大新の低落は以上の追隨によるものであるが當所としては大新の目先はなほ多少下押しを豫想されてゐた事とて前場下げは當然の結果であると一般では見てゐる

丸ウ腰を入る

一時傍觀の姿であつた丸ウ筋は當限に對し持米賣越の關係より軟化說を傳へられて居たが陽仁後弗る先限に對し押目買の態度に出で祭日前よりは特に腰を入れ買進み旣に表面の建玉だけにて一萬三千石に達して居るので非常に注目を惹いて居る

期近に全力を集注してゐると云ふ目下の狀態であるから先限が伸悩むのは已むを得ないも其變り軟派の賣崩しが利けなくなつたら買方の一飛躍は見へ透いて居るし可成安値を買ふと云ふ腹がある丈けに此の裏が出やしないか定むで居る向もある

◎期米◎

前場 大阪安に三十四圓〇九錢より三十三圓丁度と押したるも丸マ金太の買物と大阪の小戻しに十四錢と手堅く引
後場 三十四圓十錢より七錢と崩りしも大阪の跡安に十錢がみの引

果して受るか

來る二十九日を以て納會を告げる當限は目下の所買方中丸ウの玉が受米可能性を有するのと其他正米師側で二三百石渡す手口があるが模樣だから少くも見ならぬが買方たる丸當丸玉等を中心の手口が果して受米するかが問題で三十四圓內五十錢所には賣退きの傾向があると云はれてゐる取組は當か三千石內外であるが若し買方が受米を忌避すれば浮動玉のない當限とて意外の相場を出現するやも知れぬ

賣方意地張

朝鮮の彼岸日和は餘り良好とは云へないが肝心の阪地が好順で跌落は許まで戻り戻りを改めない爲め今朝は又復三十四圓臺の大關門に肉薄せしが當所は阪地よりの狀報に依ると賣方は勝利の餘勢で當限しを試み買方より解合を申込むべく嫌からせに努めつゝあるも强氣側は遠大の理想を抱く大手筋の多い丈けに先限に對しては餘り對抗的態度に出で

▲仁川 期米（廿五日）

	當限	中限	先限
前場 (一)	三四・四九	三一・〇五	三〇・〇九
後場 (一)	三四・一九	三一・〇六	三〇・二二

入故段 三四・五〇 三二・〇〇 三〇・一〇
出來高 二、六〇〇 七、七〇〇 二六、四〇〇
累計 七、〇七四、九〇〇石

◎正米◎

弱持合ひ

京城 定期の一高一低に大體は持合氣配ながら丸キ三等三三圓九〇四等三三圓〇地廻り殘良都三三圓掛みの弱持合
仁川 丸キ角于三等三三圓八九〇四等三三四地廻米三〇圓一〇穀神力十錢二厘五毛在來種九錢九厘一等白三八圓一〇新米四等三三四圓一二〇見當なるも品ガスレの爲め二三十錢高の人氣である

仁川穀物出入（廿五日）

輸移出 白米	(俵)	一、四三三
玄米	(叺)	五、七〇〇
大豆	(叺)	[illegible]
輸移入 白米	(俵)	三、二五五
同二斗入	(袋)	二、八〇〇
玄米	(叺)	一、二六〇〇
大豆	(叺)	六五

正米標準値

丸キ四等 三三圓五〇
白米劍値 三九圓〇〇

強氣弱氣

株式 ▲灰汁拔だく\といはれてゐた相場は休日あけの今朝になつて俄然瓦落つと來た▲米棉安三品大暴落れ……。もつともであるコレで相場が高かつたら何んにもいはぬ▲惡觀說濃厚といひたいが場面は案外平氣である。ソレ丈け反對材料が殖えた譯である。今後は高くならうとは目先弱い京取二十圓はご覧に入れる』とまるで自分獨りで相場をしてゐるやうな事をいつてゐる▲思ふ通りになれば誰も損をする人がない▲京取株落で慣慨してゐるのは京取社員である。身元保證に入れてある京取株の低下で一圓方損失となる譯である

期米 彼岸の入りに雨が降つた爲めか梅雨再來見たいな天候が續くこれで秋北けの日和がにはまる譯だが秋の空と浮氣男の觀切降ると見れば晴れ晴れると見れば曇るのが習はしだから買方は此邊腕によりをかけて買捲る積の元氣者も出て來ない▲だから相場は相變らず頭が重い▲と云ふて時は恰も月末だ一人娘に娘八人と云ふ調子で賣崩ふてゐる相場であるから賣方も沖徹は出來ない

◎商況◎

大豆 （十錢高）小口買望みと貿物薄にヂリ高步調となり今朝は更に十錢高の龍山三等一六圓九〇長端一六日五〇金汗一五圓九〇通端一六圓六〇唱へ

外糖 キューバ實類二弗三二分二五▲ジャワ糖九月限一一ギルダ八分五▲倫敦糖九月限一四志六片丁度

綿糸布 （聯合會二十五日）▲三二五三▲人參二三三大エ二三五▲金剛山二一〇▲双口一六〇▲菱管一九六▲貨金一九八▲飛犬一二二▲島金一〇〇▲金鵬一二二▲瀧軍一二二▲二面二二四▲双マ二二一▲晒木棉八八▲同棒一三五

綿絲安値
◇四年振りの◇

棉紐三圓六十錢安に綿絲は當限百九十二圓と二百圓大臺を割り先限また二百三圓と新値に落した。當限の大臺割百九十二圓は實に大正十一年一月三日の百九十三圓を更らに下廻りたる事とて此の落潮は殆んど手の付けやうなく自然當地現物も低落本日三ヱ一二百五十圓

各店倭合せ

當限賣方 丸ウ一七〇〇▲金太九〇〇▲丸福一〇〇▲ス丸一〇〇
同買方 丸富一七〇〇▲丸玉九〇〇
中限賣方 丸イ二四〇〇▲金太二四〇〇▲丸マ二一〇〇 丸カ八〇〇
同買方 丸富三七〇〇▲丸玉二一〇〇▲丸ウ一九〇〇
先限賣方 イ七七〇〇▲丸玉一〇二〇〇▲丸カ二一〇〇▲ス丸二一〇〇▲丸福二〇〇〇▲丸マ一七〇〇▲丸大一〇〇
同買方 丸ウ一二、三〇〇▲丸富九一〇〇▲金太五〇〇〇

大阪・東京・神戸 三品

[illegible]

各地の天氣（廿三日）

東京	晴天	群山	曇天
大阪	薄照	仁川	曇天
下關	晴天	安東	晴天
釜山	薄照	奉天	晴天
大邱	晴天	大連	晴天
木浦	曇天	平壤	薄照

鮮內延べ（廿五日）

下關・釜山・群山・大邱 [illegible]

海外經濟電報

倫敦銀塊 二七片四分一
英米爲替 四弗八五仙十六分七
米棉 三十五錢安
現物 五五五圓 一圓二十錢安
印棉 先物 五五圓
スタール株 一四八弗四分の三
アナゴンダ株 四九弗丁度
紐育銀塊 五九仙八分の一
對米爲替 四八弗四分の三

鮮銀帳尻

發行高 [illegible]
正貨準備 [illegible]
貸出高 [illegible]

日銀帳尻

發行高 [illegible]
正貨準備 [illegible]
貸出高 [illegible]

內地コール

翌日拂 一、五〇より
無條件 一、三五より
普通 一、七五より
月越 [illegible]

對外爲替（鮮銀建値） 倫敦 二志丁度 紐育 四八弗二八一 上海 七一兩四分三

京城手形交換高（廿五日） 枚數 二、六一六枚 金額 二、二一七、七一八圓

銀行取引停止處分 ▲昌信洞三三七 李昌根